



市の鳥 おおばん

～未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子～

あびこの消防年報

[市民の安全安心を守って]

令和 7 年版

は し が き

————— 未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子 —————

本書は、「水と緑に恵まれたやすらぎのまちあびこ」を守り、市民が暮らし易く住み良い、安全なまちづくりをめざす私達消防が、令和7年中（令和7年1月1日～令和7年12月31日）の消防概況をお知らせするものです。

本書が、広く利用され防災への一助となれば幸いです。

我孫子市消防本部

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号(代表) 04-7184-0119

FAX番号 04-7184-0120

我孫子市の沿革

我孫子と言う地名の起源については、どうしてこのように呼ばれるようになったのか、解らないことがたくさんあるが、「我孫子」は我比古・阿毘古・我孫・吾孫・綱引とも記され、奈良時代以前からの氏姓の名前であった。現在、「あびこ」と呼ぶ地名は、主として関西とその周辺に集中しており、関東地方にある私たちの我孫子市は極めて珍しい存在であると言える。この地がいつ頃から「あびこ」と呼ばれていたかは不明であるが、少なくとも、鎌倉時代の末には、そう呼ばれていた記録があり、古代の「我孫子氏」と関連が考えられる。

我孫子市の歴史は、市内の発掘調査の成果により、今までは約3万年以前の後期旧石器時代までさかのぼることが出来、その後の縄文時代は、約1万年もの長い期間、安定した狩猟採集経済が存続した、市内各地の台地上からは、この頃の人々が暮らした集落や、貝塚が発見されている。

弥生時代の我孫子市はほとんど空白の時代であったが、古墳時代になると、東葛地区最大の水神山古墳が高野山に造られるのをはじめ、多くの古墳が築かれるようになり、権力のある豪族が我孫子周辺を統治していたことがわかる。また、奈良・平安時代になり、全国に律令制がしかれるようになると、我孫子市周辺に「相馬郡」が設置され、郡の役所が日秀に置かれるようになる。また、下総国府（市川市）から常陸国府（石岡市）への通過経路として、当時から交通の要衝であった。

相馬郡は平将門の伝承が残っている。我孫子市にも将門に関する伝説や地名が残っており、一族の平良文、千葉常胤、平忠常らの領地となったことは確かで、この地を伊勢神宮に寄進することで、一族支配を確保しようとした。それ以後この地は相馬御厨（そうまみくりや）と呼ばれるようになった。

戦国時代には原氏や高城氏を介して小田原北条氏に服属し、北条氏の滅亡と共に、徳川氏所領となり、陸前浜街道の宿場として栄えた。

明治期に入ると、明治2年に葛飾県、明治4年に印旛県、明治6年に千葉県へと歴属し、明治11年印旛下植生南相馬郡役所に属し、明治22年に町村制施行、明治29年東葛飾郡所管となった。

昭和29年富勢村の一部を合併し、次いで昭和30年、布佐町、湖北村と合併して、我孫子町となった。昭和45年に市政施行し、我孫子市となり、現在に至る。

歴史的にも伝統的にも利根川、手賀沼と深くかかわる地域であり、かつては農業を主たる産業とする地域であったが、近年は首都近郊都市として発展、変貌を遂げている。

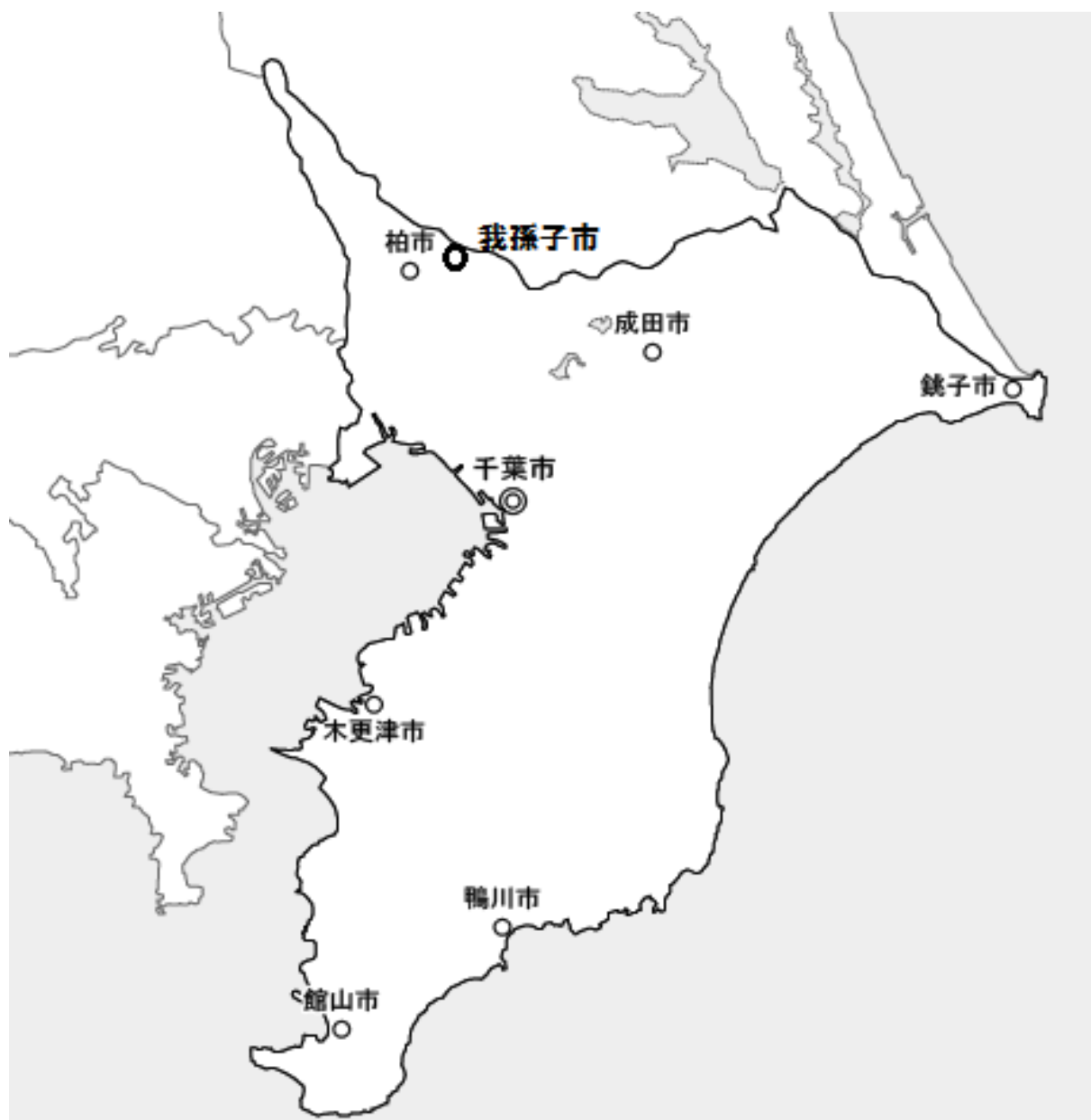
本市は、先人たちが築き上げてきた文化や歴史、豊かな自然など我孫子ならではの魅力と、誰もが心やすらかに住みたい・住み続けたいと思える、快適で活力ある持続可能なまちを未来の世代につないでいくため、将来都市像である「未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子」の実現を目指している。

位置と地勢

我孫子市は、千葉県北西部（東経140度04分・北緯35度52分）に位置し、南の景勝手賀沼、北の雄大な利根川に挟まれた（南北延長4km～6km）細長い蛇状馬背地形（東西延長14km、海拔最高21m）の概ね平坦な土地（面積43.15k㎡）で、第4期古層からなっている。

平坦で肥沃な土地は、豊かな水とみどり、そして良い気候と恵まれた米穀や蔬菜等の栽培に適するとともに、都心からJR常磐線でわずか35分という地理的条件から住宅地として、あるいは手賀沼と利根川の自然がおりなす四季の映り変わりは観光地としても絶好である。

隣接の市町は、南東に印西市、南西から北西には柏市があり、北東は利根川の対岸が茨城県取手市、利根町となっている。



消 防 庁 舎



消 防 本 部 ・ 西 消 防 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒 270-1166 我孫子市我孫子 1847-6	m ² 3,292.5	m ² 2,042	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨) 4階建	S 54. 9. 30



西 消 防 署 つ く し 野 分 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1164 我孫子市つくし野 3-21-1	m ² 805.68	m ² 263	鉄筋コンクリート造 平 屋	S 53. 6. 21



東 消 防 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1101 我孫子市布佐 1114-3	m ² 2,037.7	m ² 608.948	鉄筋コンクリート造 2階建	S 62. 2. 12



東 消 防 署 湖 北 分 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1132 我孫子市湖北台 3-1-2	m ² 825.29	m ² 201.7	鉄筋コンクリート造 平屋	S 45. 5. 1

消防本部・消防署 所在地電話番号

我孫子市消防本部

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号(代表) 04-7184-0119

FAX番号 04-7184-0120

総務課(直通) 04-7181-7700

予防課(直通) 04-7181-7702

警防課(直通) 04-7181-7701

消 防 署 ・ 分 署

◎ 西消防署

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号 04-7184-8673

FAX番号 04-7184-8674

◎ 西消防署つくし野分署

〒270-1164

所在地 我孫子市つくし野3-21-1

電話番号 04-7184-2630

FAX番号 04-7185-8118

◎ 東消防署

〒270-1101

所在地 我孫子市布佐1114-3

電話番号 04-7189-2110

FAX番号 04-7189-5963

◎ 東消防署湖北分署

〒270-1132

所在地 我孫子市湖北台3-1-2

電話番号 04-7188-2217

FAX番号 04-7187-5757

我孫子市消防ダイジェスト（令和7年版）

市勢・消防予算（令和7年4月1日現在）

面 積	人 口
43.15 km ²	131,254 人
世 帯 数	消 防 予 算
63,347 世帯	3,380,300 千円



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなきちさん

消防施設・職団員・車両状況（令和7年4月1日現在）

署・所等	消防職員	消防車両
消防本部 1	実員数 181 人	指揮車 1 台
消防署 2	うち再任用者 9 人	消防ポンプ車 5 台
分署 2	平均年齢 36.5 歳	化学車 1 台
消防団器具置場 21	（再任用除く）	はしご車 1 台
ちば北西部消防指令センター	消防団員	救助工作車 1 台
10 市共同	実員数 203 人	高規格救急車 5 台
	平均年齢 43.4 歳	消防団ポンプ車 4 台
		消防団積載車 17 台

災害状況（令和7年中）

火 災	救 急	救 助	通 報
火災件数 20 件	出動件数 7,738 件	出動件数 163 件	受信件数 9,028 件
死者数 4 人	搬送人員 6,784 人	救助人員 105 人	1 日平均 24.7 件
負傷者数 7 人	1 日平均 21.2 件		

予防関係（令和7年12月31日現在）

防火対象物	危険物施設	幼年消防クラブ
2,309 施設	貯蔵所 38 施設 取扱所 30 施設	11 団体 975 名

目次

総務関係

消防機構	1
消防本部事務分掌	2
消防署事務分掌	4
分署事務分掌	5
我孫子市の市勢	6
市勢と消防力の比較	6
市予算と消防予算の比較・人口当たりの額	6
消防力の整備指針との比較	7
消防職員の配置状況	8
消防職員階級別年齢調	8
消防職員勤続年数表	9
消防職員教育訓練状況	9
車両配置状況	10

予防関係

防火対象物数	11
用途別月別建築同意件数	12
防火対象物防火管理状況	13
中高層建物数	14
各種届出状況	15
署別危険物施設数	16
区分別危険物施設数	17
危険物施設等の申請状況	18
幼年防火委員会	19

火災関係

火災発生状況	20
署別火災発生状況	21
月別火災発生状況	21
年別火災件数及び損害額比較	22
火災出動状況	23
火災種別状況	23
原因別火災発生件数	23
時間別出火件数損害額	24
曜日別火災発生状況	25
四季別火災発生状況	25
月別気象状況	26
年間気象状況	26

警防関係（消防団含む）

各署々管轄区域	27
消防分布図	28
消防団員職名別・年齢別数	29
消防団員職業構成	29
消防団員勤続年数	30
消防団員職名別勤続年数	30
消防団員の年額報酬及び出動報酬	30
消防団車両及び施設等の現況	31
消防水利の現況	32
消防ホース配置状況	32
署別その他の出動状況	33
消防署緊急車両使用状況	34

救急関係

年別救急出動状況	35
年齢区分別傷病程度別搬送人員状況	35
月別救急出動件数及び搬送人員状況	36
署別救急出動件数及び搬送人員状況	37
事故種別年齢区分別搬送人員状況	38
事故種別傷病程度別搬送人員状況	38
時間別救急出動件数及び搬送人員状況	39
救急業務累年比較表	40
我孫子市内コンビニエンスストアAED設置場所	41

救助関係

年別救助出動状況	42
月別曜日別救助出動状況	43
時間別・救助出動状況	44
事故種別・発生場所別出動件数	45
事故種別・発生場所別救助人員数	45

通信指令関係

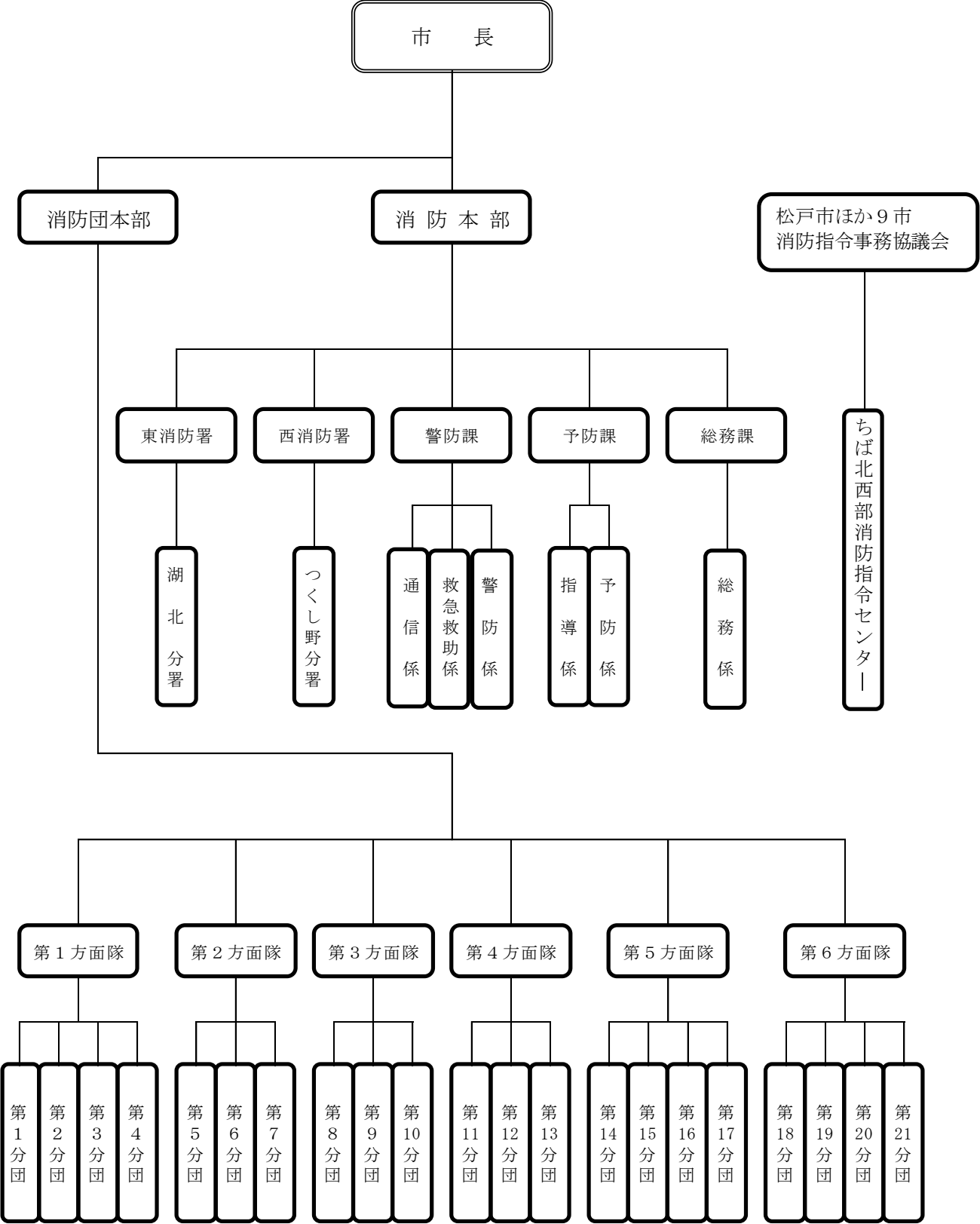
消防通信系統図	46
無線局配置状況（デジタル無線・署活動系無線）	47
無線局一覧表（デジタル無線）	48
無線局一覧表（署活動系無線）	49
月別区分別119番等受信回数	50

付表

消防の沿革	51
歴代消防長	57
歴代消防団長	58

総務関係

消防機構



消防本部事務分掌（令和7年4月1日現在）

総務課

総務係

- 1 公印に関すること。
- 2 文書の收受、発送、整理及び保存に関すること。
- 3 情報の公開に関すること。
- 4 消防広報に関すること。
- 5 消防統計に関すること。
- 6 消防組織体制に関すること。
- 7 消防審議会に関すること。
- 8 消防計画に関すること。
- 9 消防職員の教育に関すること。
- 10 消防職員の任免、分限、懲戒、表彰及び服務に関すること。
- 11 消防職員の貸与品に関すること。
- 12 消防職員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- 13 消防職員の労働安全衛生に関すること。
- 14 消防職員の公務災害に関すること。
- 15 消防職員委員会に関すること。
- 16 消防長会に関すること。
- 17 儀式に関すること。
- 18 予算及び決算に関すること。
- 19 消防庁舎、消防車両等の管理及び整備に関すること。
- 20 財産の維持管理に関すること。
- 21 消防電算業務に関すること。

予防課

予防係

- 1 火災の予防及び防火思想の啓発に関すること。
- 2 火災の原因及び損害調査に関すること。
- 3 火災証明に関すること。
- 4 火災及び災害統計に関すること。
- 5 危険物の規制に関すること。
- 6 防災協会の事業の推進及び事務に関すること。
- 7 幼年消防クラブ及び女性防火クラブの指導育成に関すること。

指導係

- 1 建築確認の同意に関すること。
- 2 消防用設備等の設置及び指導に関すること。
- 3 防火管理に関すること。
- 4 火災予防査察に関すること。

警防課

警防係

- 1 警防業務の計画に関すること。
- 2 災害対策に関すること。
- 3 火災防御に関すること。
- 4 水防に関すること。
- 5 消防水利に関すること。
- 6 警防隊員の安全管理に関すること。
- 7 警防隊員の教育に関すること。
- 8 消防職員の訓練に関すること。
- 9 警防資器材の整備に関すること。
- 10 消防広域応援に関すること。
- 11 開発行為及び建築行為に係る消防施設に関すること。
- 12 警報の発令に関すること。
- 13 通信・指令施設及び設備の整備に関すること。
- 14 消防救急無線の共同運用に関すること。
- 15 消防指令センターの共同運用に関すること。
- 16 柏市・我孫子市消防通信指令事務協議会に関すること。
- 17 松戸市ほか9市消防指令事務協議会（通信指令業務を除く。）に関すること。
- 18 消防団の行事に関すること。
- 19 消防団員の任免、分限、懲戒、表彰及び服務に関すること。
- 20 消防団員の貸与品に関すること。
- 21 消防団員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- 22 消防団員の公務災害に関すること。
- 23 消防団員の教育に関すること。
- 24 消防団員の訓練に関すること。
- 25 消防団施設及び設備に関すること。
- 26 日本消防協会及び千葉県消防協会の消防団事業に関すること。

救急救助係

- 1 救急業務及び救助業務の計画に関すること。
- 2 救急業務の証明に関すること。
- 3 医療機関等との連絡調整に関すること。
- 4 救急隊員及び救助隊員の安全管理に関すること。
- 5 救急隊員及び救助隊員の教育に関すること。
- 6 救急救命士に関すること。
- 7 応急手当、救急車の適正利用等の普及啓発に関すること。
- 8 自動体外式除細動器（AED）の設置、貸出及び普及に関すること。
- 9 救急統計及び救助統計に関すること。
- 10 救急車両及び救助車両の整備に関すること。
- 11 救急資器材及び救助資器材の整備に関すること。
- 12 東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会に関すること。

通信係

- 1 松戸市ほか9市消防指令事務協議会（通信指令業務に限る。）に関すること。

消防署事務分掌（令和7年4月1日現在）

総務警防係

- 1 文書の收受及び保存に関する事。
- 2 署員の勤務配置に関する事。
- 3 署員の教育訓練に関する事。
- 4 庁舎及び物品の管理に関する事。
- 5 消防署の庶務に関する事。
- 6 警防調査に関する事。
- 7 水火災警報及び防御に関する事。
- 8 消防機械器具の運用管理に関する事。
- 9 消防団の訓練指導に関する事。
- 10 消防車両の運用管理に関する事。
- 11 通信・指令設備の運用管理に関する事。
- 12 消防通信の教育訓練に関する事。

予防係

- 1 火災予防査察に関する事。
- 2 我孫子市火災予防条例（昭和37年条例第12号）に基づく各種届出に関する事。
- 3 火災原因調査に関する事。

救急係

- 1 救急業務に関する事。
- 2 救急業務の証明に関する事。
- 3 救急医療機関に関する事。
- 4 救急医療情報に関する事。
- 5 救急機器及び資器材の運用管理に関する事。
- 6 救急業務の統計に関する事。

救助係

- 1 救助業務に関する事。
- 2 救助資器材の運用管理に関する事。
- 3 救助技術の教育訓練に関する事。
- 4 救助業務の統計に関する事。

指揮統制係

- 1 火災、救急その他災害の通報に係る受理に関する事。
- 2 火災、救急その他災害出動に係る指揮統制に関する事。
- 3 火災、救急その他災害出動に係る通信統制に関する事。
- 4 火災、気象情報その他災害情報の収集及び伝達に関する事。
- 5 気象予報及び水火災警報の発令に関する事。
- 6 通信・指令施設及び設備の運用管理に関する事。
- 7 防災行政無線の運用に関する事。
- 8 消防通信の教育訓練に関する事。
- 9 ちば北西部消防指令センターとの連絡調整に関する事。

分署事務分掌（令和 7 年 4 月 1 日現在）

総務警防係

- 1 文書の收受及び保存に関すること。
- 2 署員の勤務配置に関すること。
- 3 署員の教育訓練に関すること。
- 4 庁舎及び物品の管理に関すること。
- 5 消防署の庶務に関すること。
- 6 警防調査に関すること。
- 7 水火災警報及び防御に関すること。
- 8 消防機械器具の運用管理に関すること。
- 9 消防団の訓練指導に関すること。
- 10 消防車両の運用管理に関すること。
- 11 通信・指令設備の運用管理に関すること。
- 12 消防通信の教育訓練に関すること。

予防係

- 1 火災予防査察に関すること。
- 2 我孫子市火災予防条例に基づく各種届出に関すること。
- 3 火災原因調査に関すること。

救急係

- 1 救急業務に関すること。
- 2 救急業務の証明に関すること。
- 3 救急医療機関に関すること。
- 4 救急医療情報に関すること。
- 5 救急機器及び資器材の運用管理に関すること。
- 6 救急業務の統計に関すること。

我孫子市の市勢

1 我孫子市の人口・世帯数・面積

(令和7年4月1日現在)

人 口	世 帯 数	面 積 (k m ²)
131,254	63,347	43.15

2 市勢と消防力の比較

消防職員1人当たり (実員 181 名)			消防団員1人当たり (実員 203 名)			消防ポンプ自動車1台当たり (消防団車両含む26台)		
人口	世帯数	面 積 (k m ²)	人口	世帯数	面 積 (k m ²)	人口	世帯数	面 積 (k m ²)
725	350	0.238	647	312	0.213	5,048	2,436	1.660

3 市予算と消防予算の比較・人口当たりの額

予 算 年 度	市一般予算(当初) (千円)	消防予算(当初) (千円)	市一般予算と 消防予算の割 合(%)	市民一人当たりの消防費 負担額 (円)
平成17年	30,634,000	1,510,287	4.9	11,372
平成18年	30,571,000	1,532,006	5.0	11,491
平成19年	31,452,000	1,504,798	4.8	11,145
平成20年	31,310,000	1,533,341	4.9	11,270
平成21年	31,920,000	1,740,308	5.5	12,780
平成22年	32,460,000	1,565,113	4.8	11,491
平成23年	34,330,000	1,772,627	5.2	13,076
平成24年	34,960,000	1,734,547	5.0	12,918
平成25年	36,380,000	1,540,408	4.2	11,516
平成26年	36,500,000	1,568,402	4.3	11,765
平成27年	38,500,000	1,566,309	4.1	11,773
平成28年	39,280,000	1,641,815	4.2	12,509
平成29年	37,660,000	1,639,827	4.4	12,494
平成30年	38,220,000	1,942,649	5.1	14,801
平成31年	37,960,000	1,689,736	4.5	12,874
令和2年	41,250,000	1,742,614	4.2	13,277
令和3年	46,380,000	1,717,937	3.7	13,089
令和4年	47,650,000	1,655,369	3.5	12,612
令和5年	43,300,000	1,832,207	4.2	13,959
令和6年	46,760,000	2,284,970	4.9	17,409
令和7年	49,390,000	3,380,300	6.8	25,754

消防力の整備指針との比較

1 消防装備基準比較

(令和7年4月1日現在)

区分 車 両	消防力の 整備指針 基準台数	現有台数	不足台数	充足率(%)
指 揮 車	1	1		100.0
消防ポンプ自動車	6	5	1	83.3
救 急 車	6	5	1	83.3
梯 子 車	2	1	1	50.0
化 学 車	1	1		100.0
工 作 車	2	1	1	50.0

消防力の整備指針とは、市町村が目標とすべき消防力の整備水準を示すものです。

市町村は、その保有する消防力の水準を総点検した上で、この指針の定める施設及び人員を目標と
その地域の実情に即した適切な消防体制を整備することが求められています。

2 現有台数に対する基準人員数と消防職員数の比較

(令和7年4月1日現在)

区分 担当別	基準数	現有職員数	不足数	充足率(%)
指 揮 隊 員	9	6	3	66.7
消 防 隊 員	76	65	11	85.5
救 急 隊 員	38	50	△12	131.6
救 助 隊 員	32	20	12	62.5
予 防 要 員	11	7	4	63.6
通 信 員※		※ 11		
庶務処理等に必要の人員	18	22	△4	122.2
計	184	181	3	98.4

※ちば北西部消防指令センターで共同運用（人数はセンター及び指揮統制系の合計数）

3 消防職員実員累年比較

(令和7年4月1日現在)

階 級 年 度	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他	計
平成27年	1	9	37	36	27	16	26		152
平成28年	1	9	37	37	27	17	27		155
平成29年	1	9	38	36	29	20	23		156
平成30年	1	11	36	35	31	22	20		156
平成31年	1	11	37	37	30	19	23		158
令和2年	1	11	38	34	28	23	25		160
令和3年	1	11	33	35	39	20	27		166
令和4年	1	10	29	36	44	22	28		170
令和5年	1	11	23	36	47	21	35		174
令和6年	1	11	20	36	43	24	44		179
令和7年	1	12	17	39	41	26	45		181

消防職員の配置状況

(令和7年4月1日現在)

階 級 所 属		消防 監	消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消防 士	そ の 他	計
消防 本部	消防長	1								1
	次 長		2							2
	総務課		(1) 1	1		3		2		7
	予防課		1	1	2	3				7
	警防課		2	3	3	4				12
西 消 防 署			(1) 2	5	13	20	13	18		71
つくし野分署			1	4	6	4	4	8		27
東 消 防 署			2	1	8	3	5	8		27
湖 北 分 署			1	2	7	4	4	9		27
計		1	12	17	39	41	26	45		181

※ () は次長が兼務

消防職員階級別年齢調

(令和7年4月1日現在)

階 級 年 齢	消防 監	消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 副 士 長	消防 士	そ の 他	計
25歳未満						4	37		41
25歳～30歳未満						17	8		25
30歳～35歳未満					10	5			15
35歳～40歳未満				2	21				23
40歳～45歳未満				8	1				9
45歳～50歳未満			2	20					22
50歳～55歳未満		3	11	8					22
55歳～60歳	1	9	4	1					15
61歳～65歳									0
再任用					9				9
計	1	12	17	39	41	26	45		181
最 高 年 齢	59	59	59	60	40	31	27		
最 低 年 齢	59	47	49	38	30	23	18		

※ 再任用は年齢から除きます。

消防職員勤続年数表

(令和7年4月1日現在)

年 数 区 分		5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年以上		計
	5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満	35年未満	35年以上	
消防職員	45 (再任用含)	22	26	17	15	22	10	24	181

消防職員教育訓練状況

(令和7年3月31日現在)

区 分		期 名	期 間	受講人員 (人)
県 消 防 学 校	初任科	第179期	111日	5
	初任科	第180期	111日	4
	救急科	第58期	41日	2
	救急科	第59期	41日	2
	火災調査科	第30期	14日	1
	救助科	第54期	23日	2
	はしご自動車等講習会	第36回	4日	2
救急救命士研修所等	救急救命士新規養成課程研修	第68期	102日	1
	救命士病院研修		3日	28
	救命士就業前病院研修		20日	6
消防大学校	救助科	第90期	52日	1
	上級幹部科	第89期	17日	1

車 両 配 置 状 況

(令和7年12月31日現在)

配 置 場 所	車 両 名	登 録 番 号	配置年月日	車 種		装 備 等
消防本部	指令1号車	柏800さ2468	H29. 1	トヨタ	ハイエース	
	指令2号車	野800さ6909	H16. 8	日産	バネット	火災予防指導車
	消 防 長 車	柏334つ358	H29. 8	トヨタ	アルファード	リース車両
	連 絡 車	柏500す6926	H20. 6	日産	セレナ	
	連 絡 車	柏500せ7939	H21. 10	日産	セレナ	
	連 絡 車	柏480い・789	H23. 3	三菱	ミニキャブバン	
	連 絡 車	柏500ち3163	H25. 5	日産	マーチ	
	連 絡 車	柏500と6737	H31. 1	日産	マーチ	
	連 絡 車	柏400さ8543	H29. 6	トヨタ	プロボックス	
	マイクロバス	野田200さ・306	H17. 8	日産	シビリアン	
西消防署	西署水槽1号車	柏830さ2102	R3. 2	日野	レンジャー	水槽2500ℓ
	西署化学1号車	柏800は・・86	H25. 2	日野	レンジャー	水1300ℓ薬液500ℓ積載
	西署梯子1号車	柏830さ1903	H31. 3	日野		伸梯37m
	西署救助1号車	柏800は・・77	H24. 1	日野	レンジャー	照明装置、クレーン
	西署救急1号車	柏830さ2302	R5. 2	トヨタ	ハイメディック	高規格救急自動車
	西署救急2号車	柏800さ4981	R7. 2	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	西署救急3号車（予備車）	柏800さ2278	H28. 2	トヨタ	ハイメディック	高規格救急自動車
	東署救急2号車（予備車）	柏800さ1827	H26. 2	トヨタ	ハイメディック	高規格救急自動車
	我孫子指揮1号車	柏800さ1085	H22. 10	日産	キャラバン	災害現場指揮車
	西署ボートトレーラ	柏830さ2003	R 2. 3	ソレックス		
	西署救助1号艇	第232 -40311号	H21. 7	アキレス	HB-420	船外機30p s
	西署救助2号艇	第232 -41682号	H24. 2	アキレス	FRB-104	船外機10p s
	西署資材1号車	野800さ8316	H18. 6	日産	アトラス	資機材搬送車
	西署資材2号車	柏800さ1294	H23. 9	いすゞ	エルフ	資機材搬送車
	西署貨物自動車	柏480 え 192	R3. 3	スズキ	キャリイ	リース車両
つくし野分署	つくし野水槽1号車	柏830さ2403	R6. 3	日野	デュトロ	水槽1500ℓ
	つくし野水槽2号車	柏800さ1201	H23. 2	日野	デュトロ	水槽600ℓ
	つくし野救急1号車	柏830さ1901	H30. 12	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	つくし野指令1号車	柏880あ・407	H30. 10	日産	NV100 クリッパー	
東消防署	東署指令1号車	柏830さ1911	R 1. 11	日産	エクストレイル	
	東署水槽1号車	柏800さ2690	H30. 2	日野	デュトロ	水槽1300ℓ
	東署水槽2号車	野800さ7912	H17. 12	日野	レンジャー	水槽1500ℓ
	東署救急1号車	柏830す2012	R2. 12	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	東署貨物車	野400せ2236	H16. 12	日産	バネット	
	東署ボートトレーラ	柏830す1911	R 1. 11	ソレックス		
	東署救助艇	第230 -39680号	H17. 4	アキレス	HB-385	船外機30p s
湖北分署	湖北水槽1号車	柏830さ2111	R3. 11	日野	レンジャー	水槽1500ℓ
	湖北救急1号車	柏800さ2467	H29. 1	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	湖北指令1号車	柏880あ270	H26. 11	日産	NV100 クリッパー	

※車両名中の網掛けは緊急車両登録車を示す。

予防関係

防火対象物数

(令和7年12月31日現在)

令別表 第1項目		署 別 用途別	西消防署	つくし野 分署	東消防署	湖北分署	計
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場				1	1
	ロ	公会堂又は集会場	10	11	6	6	33
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等					0
	ロ	遊技場又はダンスホール	3			1	4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等					0
	ニ	カラオケボックス等	1	2			3
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの					0
	ロ	飲食店	16	16		5	37
(4)		百貨店、マーケット等	49	17	19	18	103
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3		1		4
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	504	318	98	228	1,148
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	17	12	5	5	39
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	19	6	23	19	67
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)	17	12	16	20	65
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	3	4	5	8	20
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	37	37	11	23	108
(8)		図書館、博物館、美術館等	2				2
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等					0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					0
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場	1	1	1	1	4
(11)		神社、寺院、教会等	5	7	4	5	21
(12)	イ	工場又は作業場	10	7	9	7	33
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					0
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	5	10		2	17
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					0
(14)		倉庫	6	9	11	5	31
(15)		前各項に該当しない事業所	100	39	31	20	190
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	136	66	20	24	246
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	66	38	7	11	122
(16の2)		地下街					0
(16の3)		準地下街					0
(17)		重要文化財等に認定された建造物	6		5		11
(18)		延長50メートル以上のアーケード					0
(19)		市町村長の指定する山林					0
(20)		総務省令で定める舟車					0
合 計			1,016	612	272	409	2,309

用途別月別建築同意件数

(令和7年12月31日現在)

令別表 第1項目		月 別 用途別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場													0
	ロ	公会堂又は集会場													0
(2)	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等													0
	ロ	遊技場又はダンスホール													0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等													0
	ニ	カラオケボックス等													0
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの													0
	ロ	飲食店		1											1
(4)		百貨店、マーケット等	2	1	1				1		1				6
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等													0
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	2	2			2	1	3	2	2	3	2	1	20
(6)	イ	病院・診療所又は助産所							1						1
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)		1	1	1		1		1			1		6
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)				1									1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校													0
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	1							1	1	2	1		6
(8)		図書館、博物館、美術館等													0
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等													0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場													0
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場													0
(11)		神社、寺院、教会等													0
(12)	イ	工場又は作業場			1		1								2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ													0
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	1												1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫													0
(14)		倉庫				1									1
(15)		前各項に該当しない事業所	1	2				2		3		1		2	11
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)					1			1		1			3
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)										1		1	2
(16の2)		地下街													0
(16の3)		準地下街													0
(17)		重要文化財等に認定された建造物													0
(18)		延長50メートル以上のアーケード													0
(19)		市町村長の指定する山林													0
(20)		総務省令で定める舟車													0
専用住宅等			1	1		3	2	1	4	3		4	3		22
合 計			8	8	3	6	6	5	9	11	4	12	7	4	83

防火対象物防火管理状況

(令和7年12月31日現在)

令別表 第1項目		種別 用途別	甲種防火対象物			乙種防火対象物		
			防火管理者を 必要とする防 火対象物	防火管理者 選任状況	消防計画書 届出状況	防火管理者 を必要とする 防火対象物	防火管理者 選任状況	消防計画書 届出状況
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1	1	1			
	ロ	公会堂又は集会場	15	15	15	10	10	10
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	3	3			
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	3	3	3			
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの						
	ロ	飲食店	14	14	14	20	18	16
(4)		百貨店、マーケット等	59	57	57	29	25	24
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3	3	3			
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	127	121	112	8	1	
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	10	9	8	1	1	1
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	52	52	52			
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)	29	29	29	4	4	4
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	9	9	9			
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	26	26	26			
(8)		図書館、博物館、美術館等	1	1	1			
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等						
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場						
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場	1	1	1			
(11)		神社、寺院、教会等	5	5	4	4	4	3
(12)	イ	工場又は作業場	3	3	2			
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場						
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
(14)		倉庫	1	1	1			
(15)		前各項に該当しない事業所	38	38	37	3	3	3
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	141	130	118	26	23	18
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	18	14	13	3	3	3
(16の2)		地下街						
(16の3)		準地下街						
(17)		重要文化財等に認定された建造物	1	1	1			
(18)		延長50メートル以上のアーケード						
(19)		市町村長の指定する山林						
(20)		総務省令で定める舟車						
合 計			561	536	510	108	92	82

中高層建物数

(令和7年12月31日現在)

令別表 第1項目		階 数 用途別	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	計
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場													0
	ロ	公会堂又は集会場													0
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等													0
	ロ	遊技場又はダンスホール	1												1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等													0
	ニ	カラオケボックス等			1										1
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの													0
	ロ	飲食店	1												1
(4)		百貨店、マーケット等		1											1
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等					1								1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	70	138	26	17	20	9	12	2	3	4	5	6	312
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	3		2	1									6
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	5	3											8
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)													0
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2												2
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	31	1	1		1	1		1					36
(8)		図書館、博物館、美術館等													0
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等													0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場													0
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場													0
(11)		神社、寺院、教会等													0
(12)	イ	工場又は作業場	2												2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ													0
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	1	1											2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫													0
(14)		倉庫													0
(15)		前各項に該当しない事業所	21	3		2									26
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	37	29	15	11	3	2		2	1				100
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	18	13	10	6	1								48
(16の2)		地下街													0
(16の3)		準地下街													0
(17)		重要文化財等に認定された建造物													0
(18)		延長50メートル以上のアーケード													0
(19)		市町村長の指定する山林													0
(20)		総務省令で定める舟車													0
合計			192	189	55	37	26	12	12	5	4	4	5	6	547

各種届出状況

(令和7年12月31日現在)

	内 容	件 数
1	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届出	9
2	危険物保安監督者選任又は解任届出	2
3	防火・防災管理者選任(解任)届出	221
4	消防計画作成又は変更届出	253
5	消防用設備等点検結果報告	973
6	防火対象物点検結果報告	64
7	消防用設備等設置届出	259
8	消防用設備等着工届出	70
9	禁止行為解除承認申請	14
10	防火対象物使用開始届出	122
11	炉・厨房設備・ボイラー・火花を生ずる設備等の届出	5
12	急速充電・燃料電池発電・発電・変電・蓄電池設備設置届出	23
13	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生するおそれのある行為の届出	67
14	煙火打ち上げ・仕掛け届出	7
15	催物開催届出	11
16	水道断水・減水届出	0
17	道路工事届出	96
18	露店等の開設届出	79
19	少量危険物・指定可燃物貯蔵又は取扱い・廃止の届出	6
20	自衛消防訓練通知	624
21	り災証明願	26
合 計		2,931

署別危険物施設数

(令和7年12月31日現在)

区 分 署 名	貯 蔵 所								取 扱 所				合 計
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所	小計	
西 消 防 署	5			9				14	4	8	1	13	27
つくし野分署	2			2		1		5	5	1		6	11
東 消 防 署	1		1	5		5		12	2	2		4	16
湖 北 分 署	1	1		5				7	2	5		7	14
合 計	9	1	1	21	0	6	0	38	13	16	1	30	68

区分別危険物施設数

(令和7年12月31日現在)

製造所等の別 区 分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				計	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所		小計
5 倍以下			6		1	13		6		26	1	7		8	34
5 倍を超え 10 倍 以 下			3	1		3				7	1	6		7	14
10 倍を超え 50 倍 以 下						2				2	3	3	1	7	9
50 倍を超え 100 倍 以 下						3				3					3
100倍を超え 150 倍 以 下											1			1	1
150倍を超え 200 倍 以 下											1			1	1
200倍を超え 1,000倍以下											6			6	6
1,000 倍 を 超えるもの															0
計		0	9	1	1	21	0	6	0	38	13	16	1	30	68
種 別	第 1 類														0
	第 2 類														0
	第 3 類														0
	第 4 類		9	1	1	21		6		38	13	16		29	67
	第 5 類														0
	第 6 類														0
	混 在												1	1	1

危険物施設等の申請状況

(令和7年12月31日現在)

区分 製造所の別	許可				完成検査			仮使用	計
	設置	変更	他行政 転出	他行政 転入	設置	変更	他行政 転入		
製造所									0
屋内貯蔵所									0
屋外タンク 貯蔵所									0
屋内タンク 貯蔵所									0
地下タンク 貯蔵所		1			2	1			4
簡易タンク 貯蔵所									0
移動タンク 貯蔵所									0
屋外貯蔵所									0
給油取扱所	1								1
販売取扱所									0
一般取扱所	2				2				4
計	3	1	0	0	4	1	0	0	9

完成検査前検査（水圧）申請	
完成検査前検査（水張）申請	
仮貯蔵・仮取扱承認申請	1

幼年防火委員会

委員会は我孫子市民で構成する幼年消防クラブの育成を図り、もって火災予防思想の高揚と防災体制の充実に資するとともに、地域住民の安全を確保することを目的としている。

委員の構成(8名)

(令和7年12月31日現在)

会 長	1	副会長	1	委 員	5
-----	---	-----	---	-----	---

幼年消防クラブの目的

火災の原因の中で子供の火遊びによる火災が依然として多いことから、幼年期に、正しい火の取扱いについて学び、消防の仕事を理解することにより、火遊び等による火災発生の減少を図ろうとするものです。

幼年消防クラブ結成状況

(令和7年12月31日現在)

幼年消防クラブ名	クラブ員数
わだ幼稚園	91
布佐台幼稚園	103
ひかり幼稚園	148
恵愛こども園	83
慈絃保育園	48
柏鳳保育園	104
双葉保育園	67
禮和保育園	60
根戸保育園	96
あびこ菜の花保育園	114
天王台ななほ保育園	61
合 計	975

火災關係

火災発生状況

区 分		令和 7 年 (A)	令和 6 年 (B)	増減 (A) - (B)
火災 件数	建物火災	11	14	-3
	林野火災	0	0	0
	車両火災	3	0	3
	船舶火災	0	0	0
	航空機火災	0	0	0
	その他の火災	6	5	1
	合 計	20	19	1
焼 損 棟 数	全 焼	6	8	-2
	半 焼	2	3	-1
	部 分 焼	7	3	4
	ぼ や	7	13	-6
	合 計	22	27	-5
建物焼損面積 (㎡)		801	1,327	-526
林野焼損面積 (a)		0	0	0
死 者		4	2	2
負 傷 者		7	5	2
り災世帯数		21	22	-1
り災人員		40	48	-8
損 害 額 (千円)	建 物	69,218	61,078	8,140
	林 野	0	0	0
	車 両	1,325	39	1,286
	船 舶	0	0	0
	航 空 機	0	0	0
	そ の 他	250	7	243
	合 計	70,793	61,124	9,669
出火率 (人口 1 万人当たりの件数)		1.51	1.44	0.07

署別火災発生状況

(令和7年12月31日現在)

区分 署	火災件数							損害額（単位：千円）						
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物	林野	車両	船舶	航空	その他	計
西消防署	4		1				5	3,778		98				3,876
つくし野分署	2		1			4	7	4,271		550				4,821
東消防署	3					1	4	59,241					250	59,491
湖北分署	2		1			1	4	1,928		677				2,605
計	11	0	3	0	0	6	20	69,218	0	1,325	0	0	250	70,793

月別火災発生状況

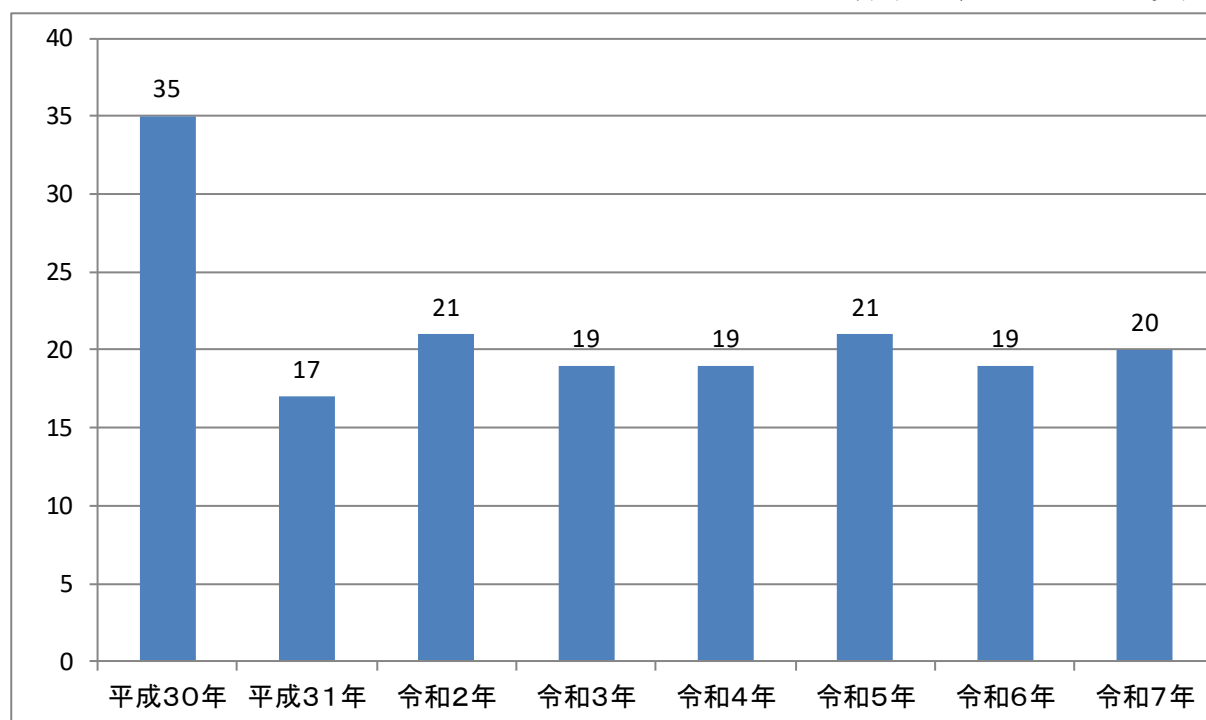
(令和7年12月31日現在)

区分 月別	種 別							建 物 火 災				死傷者		焼損面積		損害額(単位:千円)			
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	焼 損 棟 数				死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	山 林 原 野 (a)	建 物	車 両	そ の 他	計
								全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や								
1							0												0
2	1		1			5	7	2	1	2	1	6	12			14,145	27		14,172
3	1		1				2			1		1		20		4,269	98		4,367
4	1						1				1	1	2			1			1
5							0												0
6	1		1				2			1		1	1	10		3,773	550		4,323
7							0												0
8	1						1				1	1	3	1		2			2
9	1						1	1		2	1	5	11	148		1,912	650		2,562
10						1	1												0
11	1						1				1	1	1			2			2
12	4						4	3	1	1	2	6	10	356		45,114		250	45,364
計	11	0	3	0	0	6	20	6	2	7	7	21	40	801	0	69,218	1,325	250	70,793

年別火災件数及び損害額比較表

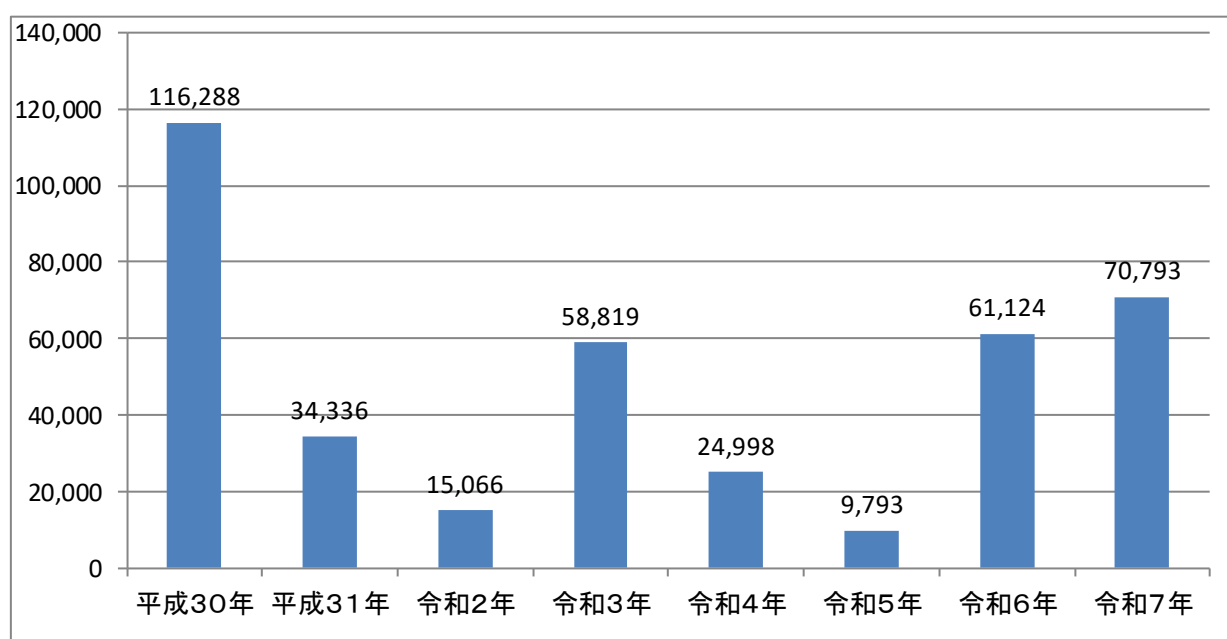
火 災 件 数

(令和7年12月31日現在)



損 害 額

(令和7年12月31日現在) 単位：千円



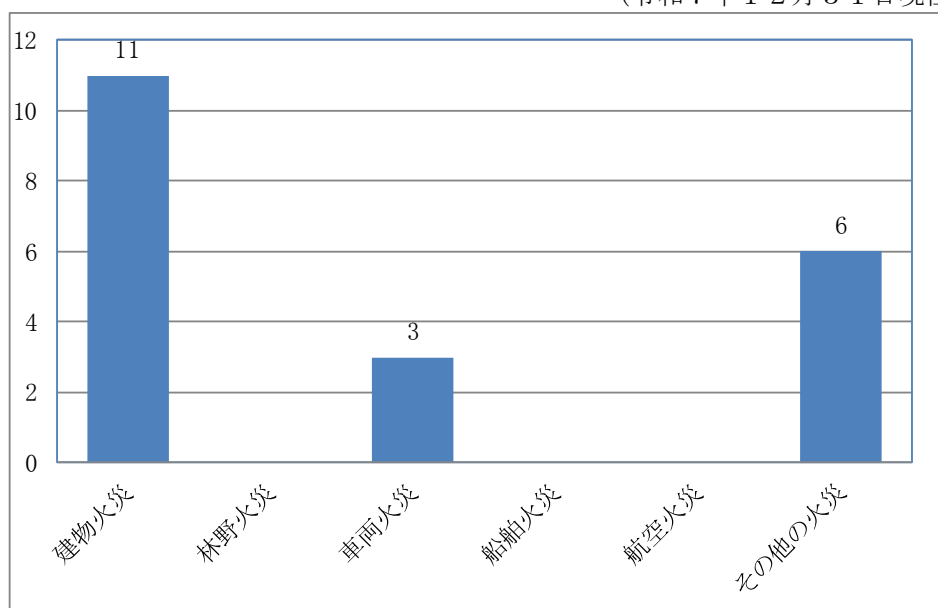
火災出動状況

(令和7年12月31日現在)

種別 \ 月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
火災件数			7	2	1		2		1	1	1	1	4	20
出動ポンプ台数 (放水)	署		19	6			5			4	4		10	48
	団		3										5	8
出動延人員	署		125	52			59			29	24	22	112	423
	団		53				15			21			57	146

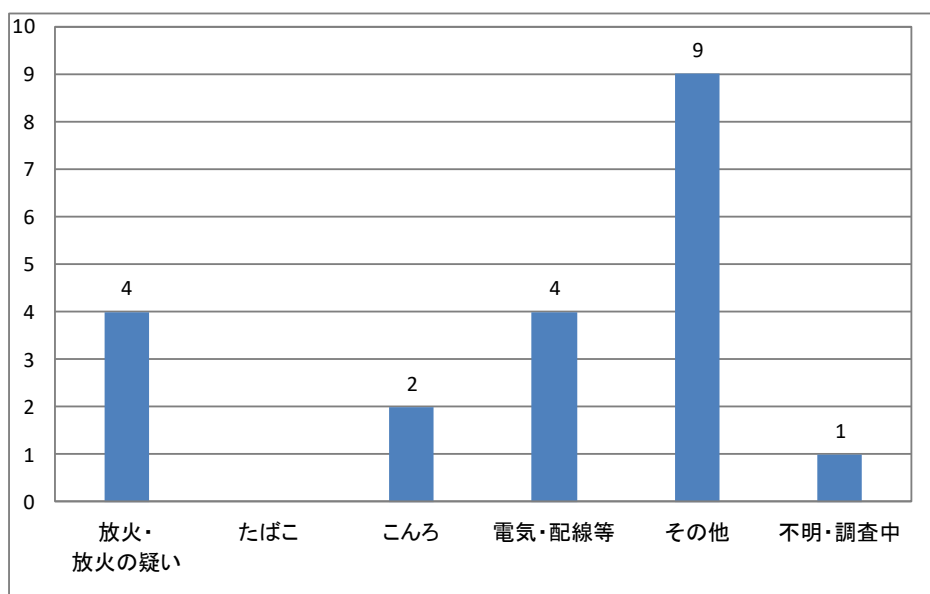
火災種別状況

(令和7年12月31日現在)



原因別火災発生件数

(令和7年12月31日現在)



時間別出火件数損害額

(令和7年12月31日現在)

区分 時間	火災件数							損害額（単位：千円）						
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物	林野	車両	船舶	航空	その他	計
0～1時							0							0
1～2時	1						1	2						2
2～3時	1					1	2	2						2
3～4時			1				1			98				98
4～5時	1						1	2,217						2,217
5～6時	1						1	1						1
6～7時							0							0
7～8時							0							0
8～9時							0							0
9～10時							0							0
10～11時							0							0
11～12時						2	2							0
12～13時	2		1			1	4	1,914		677				2,591
13～14時	1						1	42,879					250	43,129
14～15時	1					1	2	4,269						4,269
15～16時							0							0
16～17時	1		1				2	3,773		550				4,323
17～18時						1	1							0
18～19時							0							0
19～20時							0							0
20～21時	1						1	14,145						14,145
21～22時							0							0
22～23時	1						1	16						16
23～24時							0							0
不 明							0							0
計	11	0	3	0	0	6	20	69,218	0	1,325	0	0	250	70,793

曜日別火災発生状況

(令和7年12月31日現在)

区分 曜日	火災件数							損害額（単位：千円）						
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物	林野	車両	船舶	航空	その他	計
日							0							0
月	2						2	17,918						17,918
火	2					1	3	1,914		650				2,564
水	1		1				2	42,879		27			250	43,156
木	2					1	3	4,271						4,271
金	3		1			1	5	2,234		98				2,332
土	1		1			3	5	2		550				552
不明							0							0
計	11	0	3	0	0	6	20	69,218	0	1,325	0	0	250	70,793

四季別火災発生状況

(令和7年12月31日現在)

区分 時間	火災件数							損害状況							
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物		林野		車両	船舶	航空	その他
								焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	損害額 (千円)	損害額 (千円)	損害額 (千円)	損害額 (千円)
春 3月～5月	2		1				3	20	4,270			98			
夏 6月～8月	2		1				3	11	3,775			550			
秋 9月～11月	2					1	3	148	1,914			650			
冬 12月～2月	5		1			5	11	622	59,259			27			250
不明							0								
計	11	0	3	0	0	6	20	801	69,218	0	0	1,325	0	0	250

月別気象状況

(令和7年12月31日現在)

種別 月別	平均風速 (m/s)	最多風向 (方位)	最大瞬間			平均気温 (℃)	湿度		気圧		雨量	
			風速 (m/s)	風向 (方位)	起時 (日・時間)		平均相対 (%)	平均実効 (%)	平均現地 (hPa)	平均海面 (hPa)	月積算 (mm)	年積算 (mm)
1	2.6	北北西	17.2	西北西	10・11:29	5.8	55.3	55.7	1012.2	1015.8	30.0	30.0
2	3.3	北北西	23.6	北北西	13・10:41	5.7	44.0	43.9	1010.3	1013.8	5.0	35.0
3	3.2	南南西	20.3	南南西	28・3:33	10.0	68.0	65.9	1011.6	1015.1	93.5	128.5
4	3.6	南南西	21.5	南南西	15・13:42	14.9	72.3	72.8	1007.7	1011.1	100.5	229.0
5	3.2	南南西	20.5	南南西	17・15:58	18.4	79.8	77.9	1008.6	1012.0	141.5	370.5
6	3.1	南南西	18.8	南南西	15・08:02	24.4	81.3	81.7	1005.9	1009.3	115.5	486.0
7	3.6	南南西	19.4	南南西	14・18:38	28.1	81.0	80.6	1007.3	1010.5	45.0	531.0
8	3.2	南南西	20.7	南南西	11・13:00	28.9	81.0	81.0	1006.1	1009.4	35.5	566.5
9	3	南南西	16.0	南南西	14・0:14	25.9	78.6	78.8	1009.9	1013.2	121.5	688.0
10	2.8	北北西	20.9	北東	09・09:21	17.9	75.2	74.9	1015.3	1018.8	100.0	788.0
11	2	北北西	18.4	北西	03・13:35	12.1	63.0	63.5	1013.9	1017.4	11.0	799.0
12	2.3	北北西	20.9	西北西	26・12:07	7.4	59.7	59.6	1013.5	1017.1	37.0	836.0

年間気象状況

(令和7年12月31日現在)

種別 年	平均風速 (m/s)	最多風向 (方位)	最大瞬間			平均気温 (℃)	湿度		気圧		雨量	
			風速 (m/s)	風向 (方位)	起時 (月・日・時間)		平均相対 (%)	平均実効 (%)	平均現地 (hPa)	平均海面 (hPa)	月最大 (月・mm)	年積算 (mm)
R4	3.0	北北西	24.2	南南西	4/26 21:29	15.7	70.9	70.7	1010.9	1014.3	219.5 9月	1110.0
R5	2.9	南南西	29.2	南南西	6/2 16:22	17.0	69.8	69.5	1011.5	1014.9	267.5 6月	1017.5
R6	2.9	北北西	30.7	西	7/24 12:59	17.0	72.2	72.1	1011.1	1014.5	227.5 6月	1043.0
R7	3.0	南南西	23.6	北北西	2/13 10:41	16.6	69.9	69.7	1010.2	1013.6	141.5 5月	836.0

警防関係

(消防団含む)

各 署 々 管 轄 区 域

つくし野分署管内

西消防署管内

湖北分署管内

東消防署管内

柏市

取手市

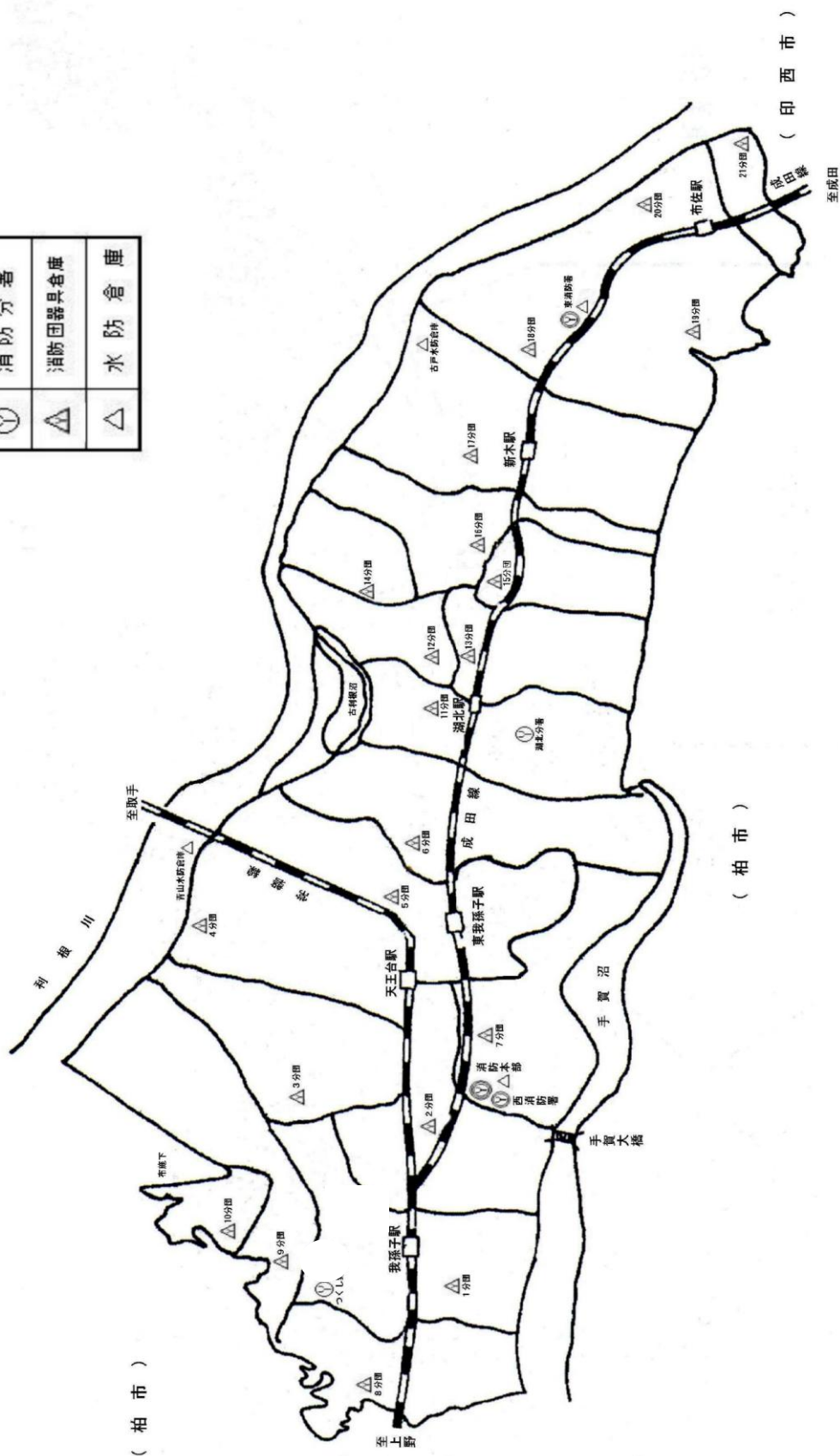
柏市

柏市

印西市

消防分佈圖

凡 例	
	消 防 本 部
	消 防 署
	消 防 分 署
	消防団器具倉庫
	水 防 倉 庫



消防団員職名別・年齢別数

(令和7年4月1日現在) 単位:人

階 級 年 齢	団 長	副 団 長	方 面 隊 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	機 械 責 任 者	団 員	計
18歳～25歳					1				4	5
26歳～30歳					3	1	2	1	11	18
31歳～35歳				3	3	7	2	3	15	33
36歳～40歳				3	3	3	4	1	10	24
41歳～45歳				5	2	4	1	2	19	33
46歳～50歳			2	3	2		5	6	18	36
51歳～55歳			3	3	3	2	4	2	13	30
56歳～60歳		2	1	1	1	1	1	1	6	14
61歳以上	1	1		2	2	2			2	10
計	1	3	6	20	20	20	19	16	98	203

消防団員職業構成

(令和7年4月1日現在) 単位:人

農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電 気 ガ ス 熱供給 水道業	運 輸 通信業
15	1	0	0	38	13	10	17

卸 売 小売業 飲食業	金融業 保険業	不動産業	サービス業	公務員	その他	合 計
23	2	5	39	20	20	203

消防団員勤続年数

(令和7年4月1日現在) 単位:人

年 数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
人 数	36	28	46	28	27	18	15	5	203

消防団員職名別勤続年数

(令和7年4月1日現在) 単位:人

階級 在職年数	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	機械責任者	団員	計
1年未満								1	12	13
1年以上 5年未満				1	2	1	1	3	15	23
5年以上 10年未満			1	4	3	7	7		6	28
10年以上 15年未満				3	6	7	1	4	25	46
15年以上 20年未満			1	4	4	2	2	3	12	28
20年以上 25年未満		1	1	1	3	1	5	4	11	27
25年以上 30年未満			2	3	1		3	1	8	18
30年以上 35年未満			1	3	1	2			8	15
35年以上	1	2		1					1	5
合 計	1	3	6	20	20	20	19	16	98	203

消防団員の年額報酬及び出動報酬

(令和7年4月1日現在) 単位:円

階 級	団 長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部 長	班 長	機械責任者	団 員
年 額 報 酬	120,000	88,800	78,000	66,000	48,000	37,000	37,000	37,000	36,500
出 動 報 酬	火災の場合 1回につき 8,000円								
	水災の場合 1回につき 8,000円								
	警戒の場合 1回につき 8,000円								
	訓練の場合 1回につき 8,000円								

※ただし、1回の出動時間が4時間に満たない場合は、4,000円

消防団車両及び施設等の現況

(令和7年12月31日現在)

方 面	区 分	車	年	ポ ン プ	ポ ン プ	購	種	設 火 の 置 見 ・ 年 乾 燥 月 塔	設 器 置 具 年 置 月 場
	分団名	名	式	形式	製作所	入 年 月	別		
第一方面隊	第1分団	日 野	H22	MD260A	森田ポンプKK	H22. 11	消防ポンプ自動車	乾S56. 10	S63. 12
	第2分団	日 産	H27	Fi6000	KKマキタ沼津	H27. 2	小型動力ポンプ積載車	—	S58. 12
	第3分団	日 野	H27	MEI	森田ポンプKK	H28. 2	消防ポンプ自動車	乾H 5. 6	S59. 10
	第4分団	日 産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H 9. 3	H9. 3
第二方面隊	第5分団	日 産	H24	Fi6000	KKマキタ沼津	H24. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H15. 11	S55. 11
	第6分団	日 産	H21	Fi6000	KKマキタ沼津	H21. 2	小型動力ポンプ積載車	乾S54. 5	H5. 11
	第7分団	日 産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25. 2	小型動力ポンプ積載車	—	S56. 10
第三方面隊	第8分団	日 産	H29	FF400AS	IHIシバウラ	H29. 1	小型動力ポンプ積載車	乾H16. 10	S61. 5
	第9分団	日 産	H20	P455DAN	KKマキタ沼津	H20. 2	小型動力ポンプ積載車	乾R 2. 2	R2. 2
	第10分団	日 産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H 3. 6	S57. 10
第四方面隊	第11分団	日 産	H20	Fi6000	KKマキタ沼津	H20. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H12. 9	H31. 3
	第12分団	日 産	H24	Fi6000	KKマキタ沼津	H24. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H13. 12	H3. 3
	第13分団	日 産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22. 2	小型動力ポンプ積載車	—	S55. 2
第五方面隊	第14分団	日 産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H11. 6	S55. 11
	第15分団	日 野	H17	ME-5	森田ポンプKK	H17. 10	消防ポンプ自動車	乾H 3. 2	S62. 2
	第16分団	日 産	H27	Fi6000	KKマキタ沼津	H27. 2	小型動力ポンプ積載車	火S30. 3	S58. 8
	第17分団	日 産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H18. 10	S57. 11
第六方面隊	第18分団	日 産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H 4. 10	S56. 11
	第19分団	日 産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25. 2	小型動力ポンプ積載車	—	S57. 12
	第20分団	日 産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22. 2	小型動力ポンプ積載車	乾H 1. 12	H2. 3
	第21分団	日 野	H15	ME-5	森田ポンプKK	H15. 10	消防ポンプ自動車	乾H14. 12	H27. 3

消防水利の現況

(令和7年12月31日現在) 単位：基

区 分		西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	合 計
消 火 栓		4 3 8	3 2 5	2 6 4	3 0 9	1, 3 3 6
防 火 水 槽	40m ³ 未満	3 8	3 5	2 7	5 4	1 5 4
	40m ³ 以上	1 1 7	9 3	5 9	3 6	3 0 5
	小 計	1 5 5	1 2 8	8 6	9 0	4 5 9
その他の指定水利		5	4	2	2	1 3
合 計		5 9 8	4 5 7	3 5 2	4 0 1	1, 8 0 8

※私設消防水利の数も含む。

消防ホース配置状況

(令和7年12月31日現在) 単位：本

署 区 分		西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	合 計
口 径	4 0 mm	8	1 8	1 6	1 0	5 2
	5 0 mm	3 0	3 7	3 5	1 7	1 1 9
	6 5 mm	8 2	5 6	8 7	3 1	2 5 6
合 計		1 2 0	1 1 1	1 3 8	5 8	4 2 7

署別その他の出動状況

(令和7年12月31日現在)

区分 署	種 別 (単位：件)					計
	危険排除	救急支援	誤報	市民協力	その他	
西消防署	35	433	38	29	56	591
つくし野分署	12	300	33	17	30	392
東消防署	14	157	13	20	15	219
湖北分署	32	265	20	21	24	362
計	93	1,155	104	87	125	1,564

消防署緊急車両使用状況

(令和7年12月31日現在)

車 名	登 年 月 日 録 日	経 過		配 車 から 走 行 距 離 (km)	配 車 から 出 動 総 件 (件)	令 和 7 年 中 の 走 行 距 離 (km)	令 和 7 年 中 の 出 動 ・ 出 向 総 件 (件)	令 和 7 年 中 の 火 災 出 動 件 数 (件)	令 和 7 年 ポ ン プ 及 び P T O 使 用 時 分
		年	月						
我孫子指揮 1号車	H22.10.19	15	2	60,832	3,901	2,903	205	18	
西署水槽1号車	R3.2.15	4	10	27,275	3,544	6,006	854	21(1)	44時間35分
西署化学1号車	H25.2.18	12	10	37,768	3,280	2,453	230	13	24時間25分
西署救助1号車	H24.1.20	13	11	51,001	4,362	3,970	369	15	23時間15分
西署梯子1号車	H31.3.8	6	9	8,328	464	685	48	1	41時間20分
西署資材1号車	H18.6.22	19	6	20,281	1,119	921	26	0	
西署資材2号車	H23.9.30	14	3	12,071	425	561	28	0	
つくし野水槽 1号車	R6.3.11	1	9	9,352	1,181	4,656	772	17(4)	33時間35分
つくし野水槽 2号車	H23.2.15	14	10	52,727	252	341	54	5	4時間35分
東署水槽1号車	H30.2.8	7	10	32,356	3,604	3,515	443	14(2)	50時間56分
東署水槽2号車	H17.12.14	20	0	50,238	7,169	758	89	5	18時間26分
湖北水槽1号車	R3.11.19	4	1	21,425	2,633	5,078	645	12	18時間19分
西署救急1号車	R5.1.25	2	11	62,046	4,759	20,960	1,621	6	
西署救急2号車	R7.1.27	0	11	17,374	1,437	17,374	1,437	7	
西署救急3号車	H28.2.2	9	10	166,720	13,460	14,375	945	3	
つくし野救急 1号車	H30.12.27	7	0	124,486	11,085	17,306	1,657	2	
東署救急1号車	R2.12.17	5	0	108,123	5,741	21,562	1,157	2	
湖北救急1号車	H29.1.24	8	11	168,739	11,095	18,227	1,102	5	
東署救急2号車	H26.2.12	11	10	167,729	13,944	3,993	176	3	
つくし野指令1号車	H30.10.30	7	2	17,450	1,217	1,934	189	0	
東指令1号車 (エクストレイル)	R1.11.13	6	1	18,723	685	2,840	139	1	
湖北指令1号車	H26.11.19	11	1	31,135	2,187	2,526	174	1	

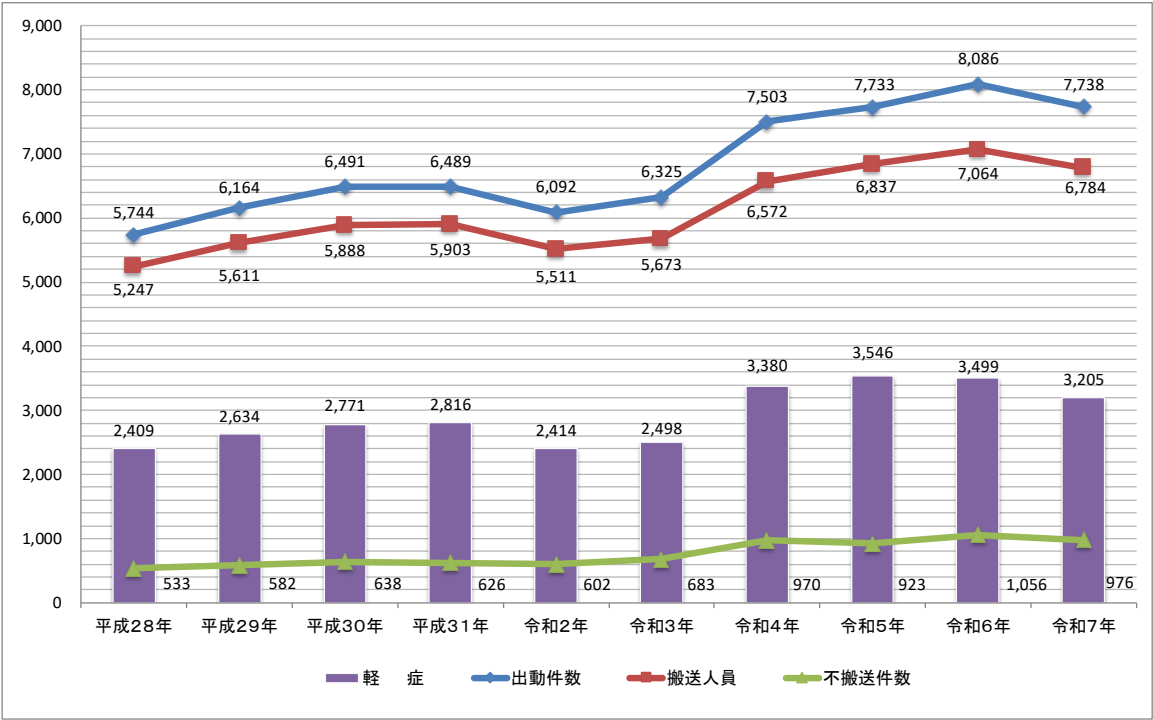
() は管外への出場件数を示す。

備考：新西救急2＋旧西救急2＝19812
新西救急3＋旧西救急3＝13182

救急関係

年別救急出動状況

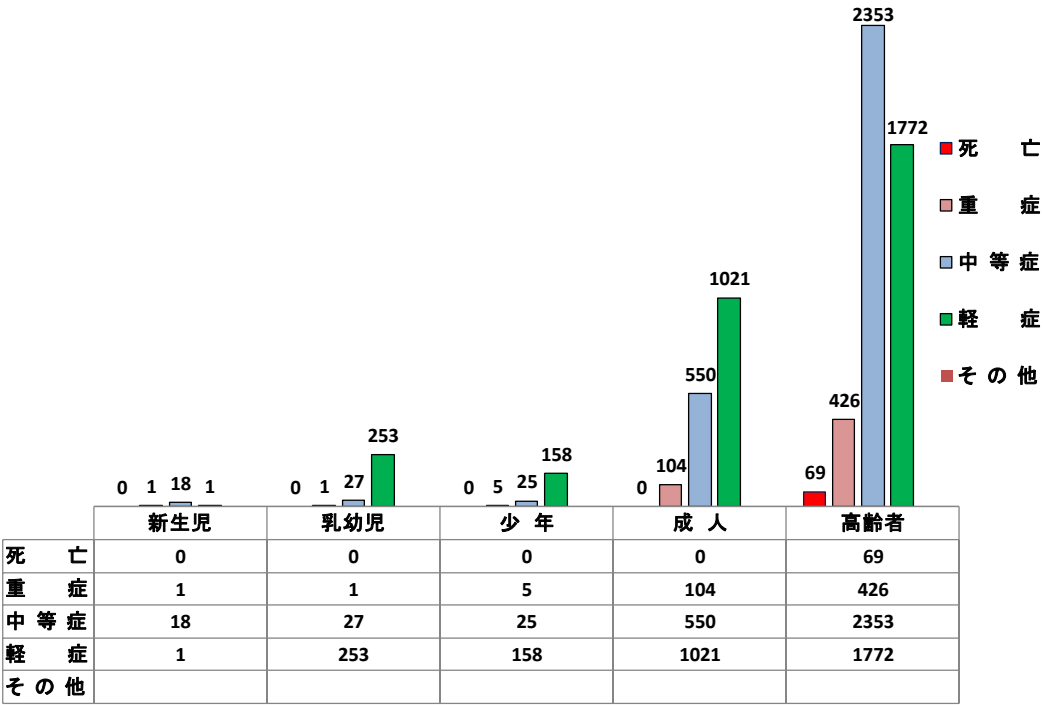
(令和7年12月31日現在)



	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出動件数	5,744	6,164	6,491	6,489	6,092	6,325	7,503	7,733	8,086	7,738
搬送人員	5,247	5,611	5,888	5,903	5,511	5,673	6,572	6,837	7,064	6,784
軽 症	2,409	2,634	2,771	2,816	2,414	2,498	3,380	3,546	3,499	3,205
不搬送件数	533	582	638	626	602	683	970	923	1,056	976

年齢区分別傷病程度別搬送人員状況

(令和7年12月31日現在)



月別救急出動件数及び搬送人員状況

(令和7年12月31日現在)

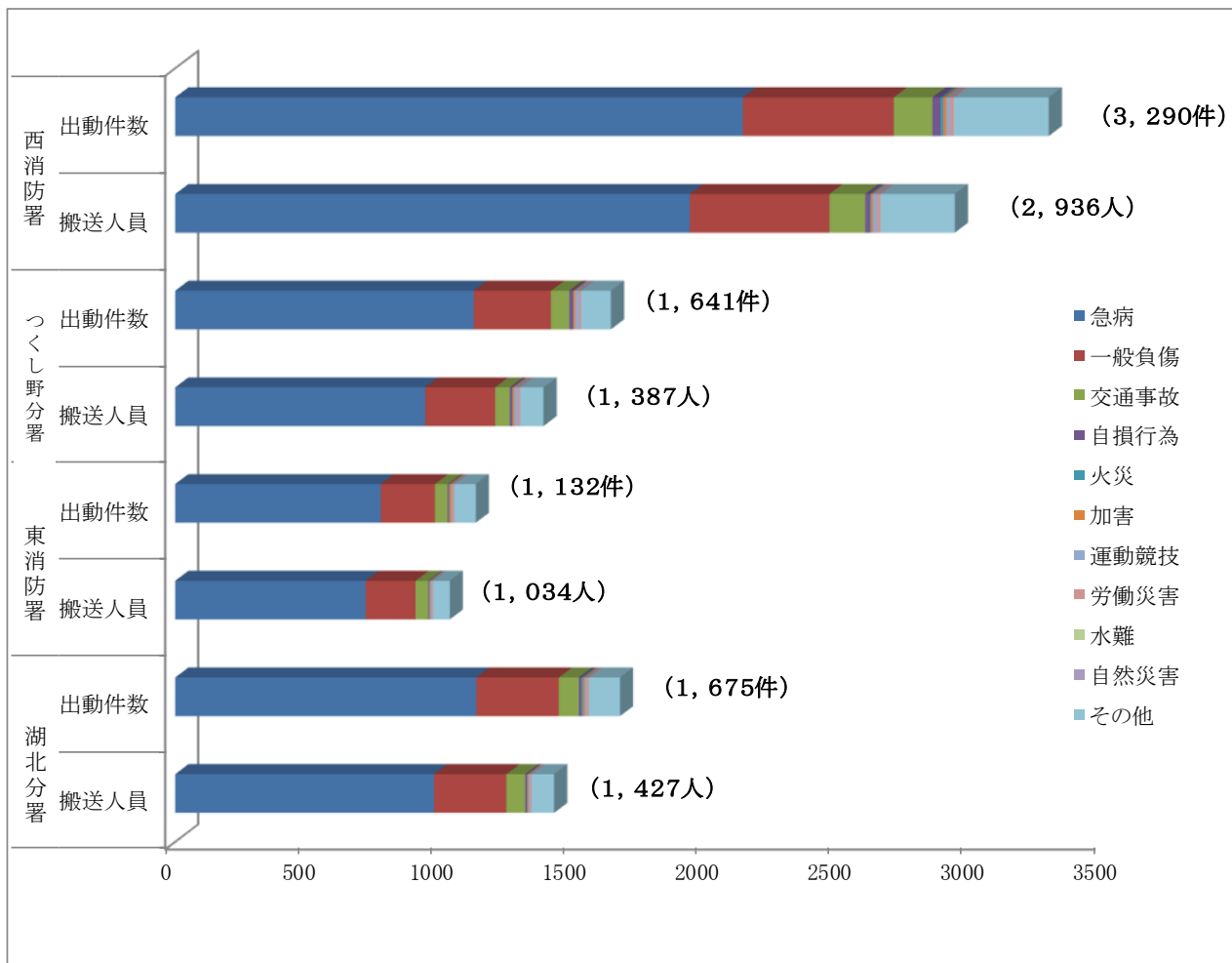
種 別 月 別		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	計
1	出動件数				33 4	3	2	139 16	4 1	6 3	577 67	58 16	822 107
	搬送人員				30	3	2	123	3	3	510	42	716
2	出動件数	6 5			23 4	2	2	115 14	5 2	8 3	433 49	51 8	645 85
	搬送人員	1			19	2	2	101	3	5	384	43	560
3	出動件数	2 2			36 4	1	4	108 12	4 1	3 1	418 52	47 10	623 83
	搬送人員				34	1	3	96	3	2	368	37	544
4	出動件数	1			21 2	3	1	92 7	2	5	416 37	71 15	612 61
	搬送人員	1			21	3	1	85	2	5	379	56	553
5	出動件数				24 2	1	4	85 7	1 1	7 4	362 33	54 13	538 60
	搬送人員				22	1	4	78		3	329	41	478
6	出動件数	2 2		1 1	36 2	8 1	3	111 14	2 1	6 2	380 35	47 13	596 72
	搬送人員				34	7	2	97	1	4	345	34	524
7	出動件数				22 3	5	9	111 6	3	5 2	457 48	62 13	674 72
	搬送人員				20	5	9	106	3	3	409	49	604
8	出動件数				21 2	4 1	4	105 5	1 1	3	498 78	51 15	687 102
	搬送人員				20	3	4	100		3	421	36	587
9	出動件数	1 1			22 6	3	3	105 7	1 1	5 1	365 49	62 21	567 86
	搬送人員				17	3	3	98		4	317	41	483
10	出動件数	2 2			28 1	1	3	113 12	1	2	414 49	53 4	617 68
	搬送人員				28	1	3	102	1	2	365	49	551
11	出動件数	1 1			39 8	1	5	131 13	5 2	4 3	403 57	57 10	646 94
	搬送人員				33	1	5	118	3	1	346	47	554
12	出動件数	4 1			33 5	3 1	1	158 13	4 2	6 2	448 49	54 13	711 86
	搬送人員	4			31	2	1	145	3	4	399	41	630
計	出動件数	19 14	0 0	1 1	338 43	35 3	41 2	1,373 126	33 12	60 21	5,171 603	667 151	7,738 976
	搬送人員	6	0	0	309	32	39	1,249	22	39	4,572	516	6,784

※各月出動件数中の下段は不搬送件数

署別救急出動件数及び搬送人員状況

(令和7年12月31日現在)

種 別 署 別		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
西消防署	出動件数	11	0	1	146	13	15	568	11	30	2,138	357	3,290
	搬送人員	3	0	0	135	13	15	526	8	18	1,938	280	2,936
つくし野分署	出動件数	0	0	0	69	8	15	290	7	15	1,125	112	1,641
	搬送人員	0	0	0	55	8	14	263	7	10	942	88	1,387
東消防署	出動件数	2	0	0	48	6	5	204	8	5	774	80	1,132
	搬送人員	1	0	0	48	5	5	188	3	4	717	63	1,034
湖北分署	出動件数	6	0	0	75	8	6	311	7	10	1,134	118	1,675
	搬送人員	2	0	0	71	6	5	272	4	7	975	85	1,427
合 計	出動件数	19	0	1	338	35	41	1,373	33	60	5,171	667	7,738
	搬送人員	6	0	0	309	32	39	1,249	22	39	4,572	516	6,784



事故種別年齢区分別搬送人員状況

(令和7年12月31日現在)

種別 年齢区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児										1	19	20
乳幼児	1			9			68			185	18	281
少年				19	2	21	29		2	104	11	188
成人	1			175	25	17	166	16	34	1,126	115	1,675
高齢者	4			106	5	1	986	6	3	3,156	353	4,620
計	6	0	0	309	32	39	1,249	22	39	4,572	516	6,784

事故種別傷病程度別搬送人員状況

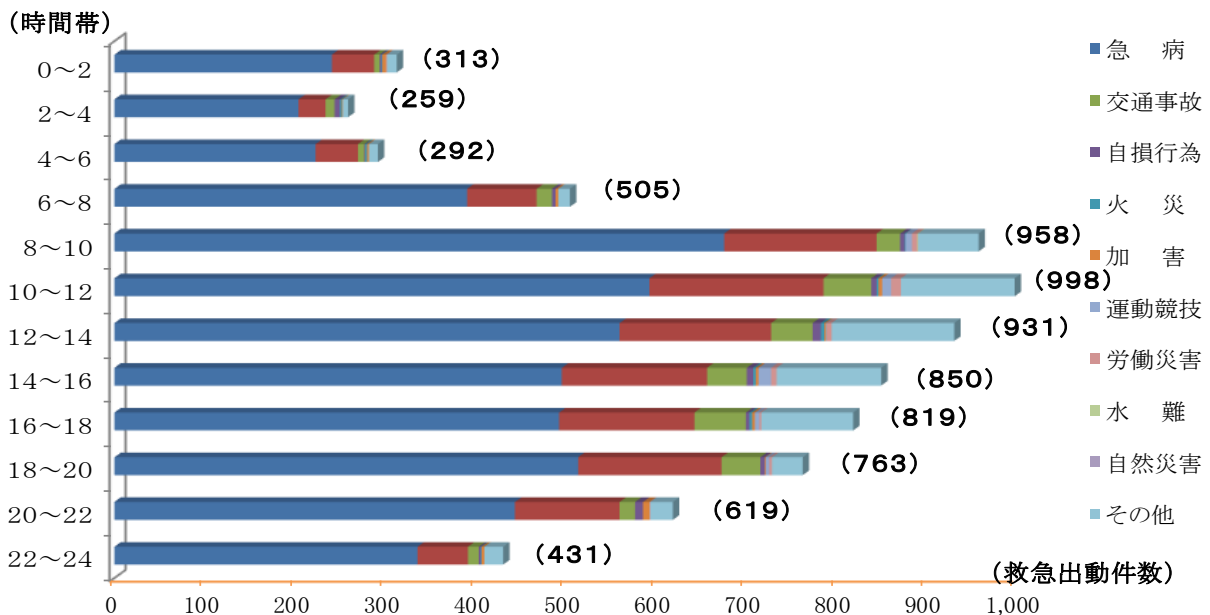
(令和7年12月31日現在)

種別 傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡							4			64	1	69
重症	1			16	3	1	50	1	8	355	102	537
中等症	3			42	11	7	397		16	2,129	368	2,973
軽症	2			251	18	31	798	21	15	2,024	45	3,205
その他												0
計	6	0	0	309	32	39	1,249	22	39	4,572	516	6,784

時間別救急出動件数及び搬送人員状況

(令和7年12月31日現在)

時間別	種別	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	その他	計
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病		
0～2	出動件数	1			6	1		47	4	2	241	11	313
	搬送人員				4	1		40	3		189	5	242
2～4	出動件数	2			10			30	1	6	204	6	259
	搬送人員				8			28		5	168	3	212
4～6	出動件数	2			7			47	2	1	223	10	292
	搬送人員				6			43	3		179	4	235
6～8	出動件数				17			77	3	4	391	13	505
	搬送人員				17			72	2	3	354	6	454
8～10	出動件数	1		1	26	6	7	169		5	676	67	958
	搬送人員	1			25	6	7	163		3	639	53	897
10～12	出動件数	2			53	11	10	193	4	6	593	126	998
	搬送人員	1			49	10	10	180	1	4	550	95	900
12～14	出動件数	4			46	5	1	168	2	9	560	136	931
	搬送人員	1			40	5	1	155	1	6	507	125	841
14～16	出動件数	3			44	6	14	161	3	7	496	116	850
	搬送人員	1			42	6	13	147	3	4	443	99	758
16～18	出動件数	3			57	2	5	150	3	4	493	102	819
	搬送人員				53	2	5	129	2	4	437	87	719
18～20	出動件数				43	3	4	159	1	5	514	34	763
	搬送人員				41	2	3	147	1	4	450	18	666
20～22	出動件数				17	1		116	7	9	444	25	619
	搬送人員				14			95	3	5	369	12	498
22～24	出動件数	1			12			56	3	2	336	21	431
	搬送人員	2			10			50	3	1	287	9	362
計	出動件数	19	0	1	338	35	41	1,373	33	60	5,171	667	7,738
	搬送人員	6	0	0	309	32	39	1,249	22	39	4,572	516	6,784



救急業務累年比較表

(令和7年12月31日現在)

区 分 年 別	出動件数	増減率	搬送件数	増減率	搬送人員	増減率
昭和51年	1,206	3.8%	1,132	4.2%	1,215	5.7%
52年	1,272	5.5%	1,185	4.7%	1,249	2.8%
53年	1,450	14.0%	1,361	14.9%	1,349	8.0%
54年	1,491	2.8%	1,387	1.9%	1,349	0.0%
55年	1,630	9.3%	1,548	11.6%	1,528	13.3%
56年	1,635	0.3%	1,561	0.8%	1,539	0.7%
57年	1,608	-1.7%	1,518	-2.8%	1,502	-2.4%
58年	1,620	0.7%	1,547	1.9%	1,552	3.3%
59年	1,561	-3.6%	1,468	-5.1%	1,552	0.0%
60年	1,645	5.4%	1,554	5.9%	1,641	5.7%
61年	1,647	0.1%	1,552	-0.1%	1,623	-1.1%
62年	1,738	5.5%	1,654	6.6%	1,743	7.4%
63年	1,801	3.6%	1,682	1.7%	1,796	3.0%
平成元年	1,933	7.3%	1,829	8.7%	1,936	7.8%
2年	1,975	2.2%	1,857	1.5%	1,966	1.5%
3年	2,031	2.8%	1,915	3.1%	2,049	4.2%
4年	2,143	5.5%	2,020	5.5%	2,183	6.5%
5年	2,089	-2.5%	1,993	-1.3%	2,117	-3.0%
6年	2,209	5.7%	2,075	4.1%	2,217	4.7%
7年	2,486	12.5%	2,331	12.3%	2,446	10.3%
8年	2,505	0.8%	2,366	1.5%	2,468	0.9%
9年	2,583	3.1%	2,405	1.6%	2,510	1.7%
10年	2,773	7.4%	2,602	8.2%	2,680	6.8%
11年	3,142	13.3%	2,914	12.0%	3,031	13.1%
12年	3,404	8.3%	3,189	9.4%	3,335	10.0%
13年	3,462	1.7%	3,181	-0.3%	3,286	-1.5%
14年	4,031	16.4%	3,717	16.9%	3,857	17.4%
15年	4,268	5.9%	3,873	4.2%	4,003	3.8%
16年	4,250	-0.4%	3,878	0.1%	3,979	-0.6%
17年	4,674	10.0%	4,210	8.6%	4,284	7.7%
18年	4,656	-0.4%	4,236	0.6%	4,308	0.6%
19年	4,706	1.1%	4,265	0.7%	4,306	0.0%
20年	4,561	-3.1%	4,113	-3.6%	4,154	-3.5%
21年	4,622	1.3%	4,187	1.8%	4,242	2.1%
22年	4,770	3.2%	4,335	3.5%	4,390	3.5%
23年	5,153	8.0%	4,661	7.5%	4,718	7.5%
24年	5,404	4.9%	4,908	5.3%	4,968	5.3%
25年	5,434	0.6%	4,942	0.7%	5,025	1.1%
26年	5,902	8.6%	5,269	6.6%	5,327	6.0%
27年	5,834	-1.2%	5,278	0.2%	5,350	0.4%
28年	5,744	-1.5%	5,211	-1.3%	5,247	-1.9%
29年	6,164	7.3%	5,582	7.1%	5,611	6.9%
30年	6,491	5.3%	5,853	4.9%	5,888	4.9%
31年	6,489	0.0%	5,863	0.2%	5,903	0.3%
令和2年	6,092	-6.1%	5,490	-6.4%	5,511	-6.6%
令和3年	6,325	3.8%	5,642	2.8%	5,673	2.9%
令和4年	7,503	18.6%	6,533	15.8%	6,572	15.8%
令和5年	7,733	3.1%	6,810	4.2%	6,837	4.0%
令和6年	8,086	4.6%	7,030	3.2%	7,064	3.3%
令和7年	7,738	-4.3%	6,762	-3.8%	6,784	-4.0%

我孫子市内コンビニエンスストアA E D設置場所

(令和7年12月31日現在)

地区		設 置 店 名	設 置 所 在 地	設 置 台 数
我孫子地区	1	ファミリーマート我孫子駅北口店	我孫子1丁目9番12号	1
	2	デイリーヤマザキ我孫子駅前店	我孫子1丁目10番1号	1
	3	ファミリーマート我孫子駅前店	我孫子1丁目11番1号	1
	4	セブンイレブン我孫子3丁目店	我孫子3丁目3番8号	1
	5	ローソン我孫子新田店	我孫子新田10番地8	1
	6	ファミリーマート我孫子本町店	本町1丁目4番7号	1
	7	ファミリーマートクロスブックス我孫子店	本町2丁目3番3号	1
	8	セブンイレブン我孫子緑1丁目店	緑1丁目5番3号	1
	9	ローソン我孫子寿店	寿1丁目20番4号	1
	10	セブンイレブン我孫子根戸店	根戸1187番地3	1
	11	セブンイレブン我孫子並木5丁目店	並木5丁目5番5号	1
天王台地区	12	セブンイレブン我孫子高野山店	高野山296番地1	1
	13	ファミリーマート天王台駅前店	天王台1丁目1番2号	1
	14	ファミリーマート天王台駅南口店	天王台1丁目24番1号	1
	15	セブンイレブン我孫子天王台2丁目店	天王台2丁目20番14号	1
	16	セブンイレブン我孫子天王台6丁目店	天王台6丁目17番1号	1
	17	ローソン我孫子泉店	泉14番地1	1
	18	ローソン天王台駅前通店	柴崎台1丁目8番20号	1
	19	ファミリーマート天王台駅柴崎台店	柴崎台1丁目10番1号	1
	20	セブンイレブン我孫子柴崎台1丁目店	柴崎台1丁目14番9号	1
	21	セブンイレブン我孫子柴崎台2丁目店	柴崎台2丁目1番16号	1
	22	セブンイレブン我孫子柴崎台3丁目店	柴崎台3丁目9番1号	1
	23	ローソン我孫子新田岡発戸店	岡発戸611番地1	1
湖北地区	24	セブンイレブン湖北台店	湖北台3丁目3番1号	1
	25	セブンイレブン我孫子湖北台5丁目店	湖北台5丁目3番1号	1
	26	ファミリーマート我孫子湖北台店	湖北台7丁目13番58号	1
	27	セブンイレブン我孫子都部店	都部35番地1	1
	28	セブンイレブン我孫子中里店	中里77番地1	1
	29	ミニストップ我孫子古戸店	古戸177番地23	1
	30	ファミリーマート我孫子湖北台3丁目店	湖北台3丁目4番1号	1
新布佐地区	31	ファミリーマート我孫子新木店	南新木1丁目2番1号	1
	32	セブンイレブン我孫子南新木店	南新木2丁目22番6号	1
	33	セブンイレブン我孫子布佐酉町店	布佐1408番地	1
	34	セブンイレブン我孫子布佐店	布佐1丁目18番3号	1
	35	ファミリーマート我孫子都店	都6番地1	1
	36	セブンイレブン我孫子新々田店	新々田95番地2	1

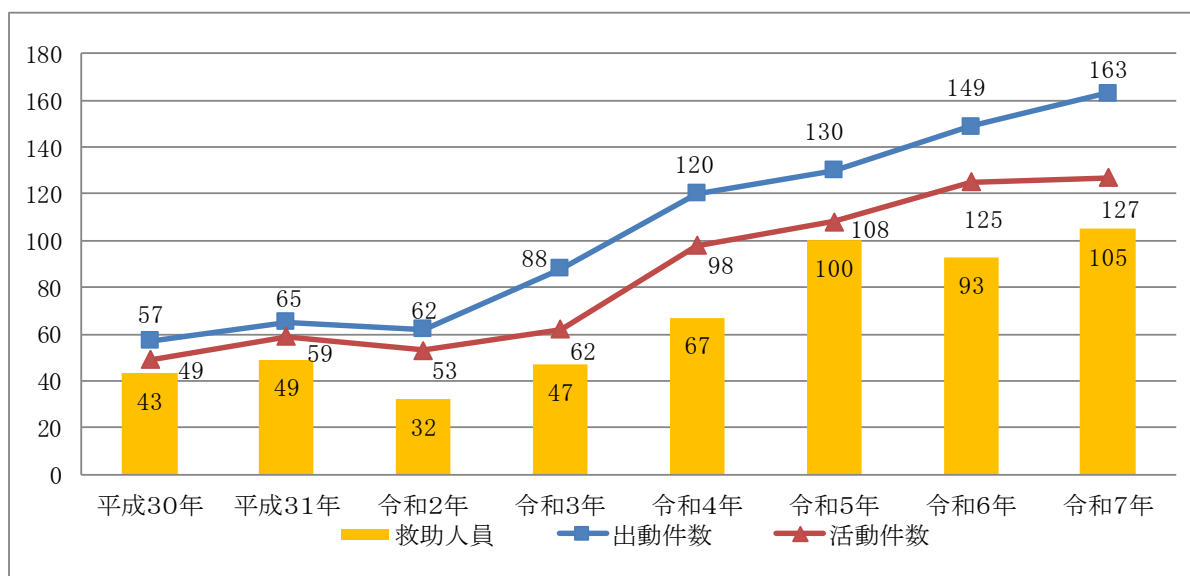
計36箇所

救助關係

年別救助出動状況

(令和7年12月31日現在)

事故種別 年別区分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
平成30年	出動件数	3	9	3			31			11	57
	活動件数	3	5	2			30			9	49
	救助人員	1	6	2			29			5	43
平成31年	出動件数	4	10	4		1	35			11	65
	活動件数	4	7	4		1	35			8	59
	救助人員	8	8	2		2	26			3	49
令和2年	出動件数		6	3			30			23	62
	活動件数		6	2			29			16	53
	救助人員		6	1			19			6	32
令和3年	出動件数	4	8	3		2	48	2		21	88
	活動件数	4	7	2		2	41			6	62
	救助人員		7	1		2	31			6	47
令和4年	出動件数	3	15	1		1	78			22	120
	活動件数	3	11	1			72			11	98
	救助人員	2	14				46			5	67
令和5年	出動件数	1	15	1	4	2	80			27	130
	活動件数	1	10	1	1	2	77			16	108
	救助人員	1	6	0	3	14	65			11	100
令和6年	出動件数	2	17	5		2	98			25	149
	活動件数	2	12	5		2	91			13	125
	救助人員	1	11	4		2	72			3	93
令和7年	出動件数	4	22	1		1	85	4		46	163
	活動件数	4	15	1		1	68	3		35	127
	救助人員	6	15	1		1	70	4		8	105



月別曜日別 救助出動状況

(令和7年12月31日現在)

事故種別 月・曜日別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 風 然 災 水 害 害 事 害 等 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
1		3				11	1		3	18
2		1				5			6	12
3		2				6			5	13
4					1	5	2		4	12
5		2				10	1		4	17
6	1	2	1			6			4	14
7		2				5			4	11
8						8			3	11
9	1	3				2			4	10
10		1				10			3	14
11		3				10			1	14
12	2	3				7			5	17
計	4	22	1	0	1	85	4	0	46	163
月曜日	1	3				10			6	20
火曜日	1	6				19			10	36
水曜日		2				16			4	22
木曜日	1	6	1		1	10	1		7	27
金曜日	1	3				14	1		6	25
土曜日		1				9			9	19
日曜日		1				7	2		4	14

時間別・救助出動状況

(令和7年12月31日現在)

事故種別 時間別	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
0～1		1					1				2
1～2											0
2～3		1					1			1	3
3～4		2					1				3
4～5	1	1					2				4
5～6										1	1
6～7		1					5	2			8
7～8							2			1	3
8～9							2			1	3
9～10		1	1				4			3	9
10～11		2					10			6	18
11～12		2					8			5	15
12～13	2	4					6			1	13
13～14		2				1	2	1		4	10
14～15		1					5			3	9
15～16							4			6	10
16～17	1						5			2	8
17～18		1					7			4	12
18～19		1					9	1		2	13
19～20		1					2			1	4
20～21							1			2	3
21～22							6				6
22～23										2	2
23～24		1					2			1	4
計	4	22	1	0	1	1	85	4	0	46	163

事故種別・発生場所別 出動件数

(令和7年12月31日現在)

事故種別 発生場所			火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故 等	風 水 害 事 故 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
屋 内	住居		4						8 3	2		3 3	1 2 2
	その他の屋内							1	1			1	3
屋 外	道 路	高 速 道 路											0
		その他の道路		1 8						1		2	2 1
	水 面	内水面		1	1							2	4
		外水面											0
	山岳												0
	その他の屋外			2						1		8	1 1
地下													0
その他				1					1				2
計			4	2 2	1	0	1	8 5	4	4	0	4 6	1 6 3

事故種別・発生場所別 救助人員数

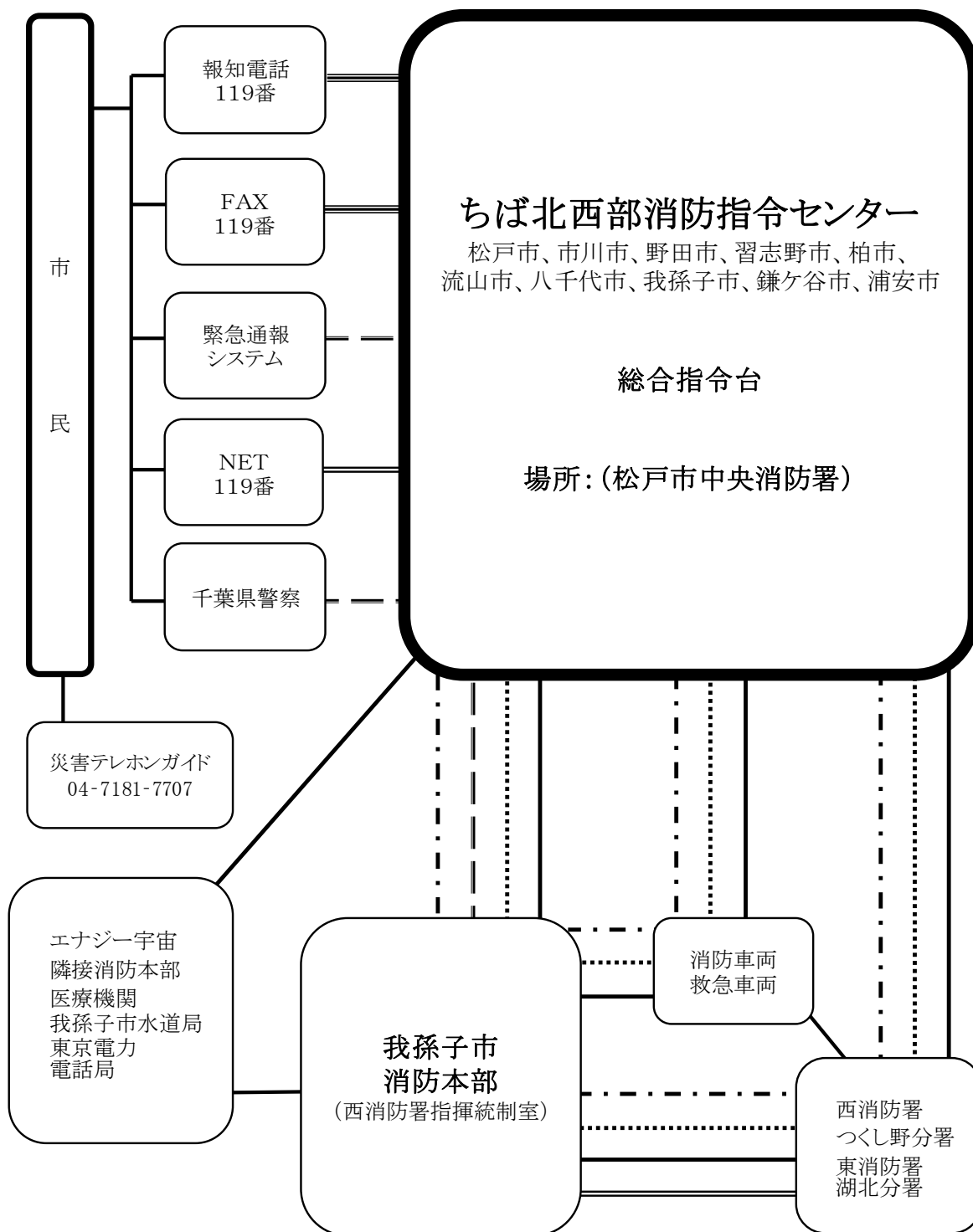
(令和7年12月31日現在)

事故種別 発生場所			火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故 等	風 水 害 事 故 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
屋 内	住居		6						6 9	1		1	7 7
	その他の屋内							1	1			1	3
屋 外	道 路	高速道路											0
		その他の道路		1 3						2		2	1 7
	水 面	内水面		1	1								2
		外水面											0
	山岳												0
	その他の屋外			1						1		4	6
	地下												0
その他												0	
計			6	1 5	1	0	1	7 0	4	0	8	1 0 5	

通信指令関係

消防通信系統図

(令和7年4月1日現在)



凡例	
	119番回線
	専用回線
	指令伝送回線
	デジタル無線
	インターネット網
	一般加入回線

無線局配置状況（デジタル無線・署活動系無線）

（令和7年12月31日現在）

配置場所 装置種類	消防本部			西消防署		東消防署		計
	総務課	予防課	警防課	西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	
遠隔制御装置				1				1
卓上型半固定局				2	1	1	1	5
可搬型移動局			1	1				2
車載型移動局	1	1	1	10	3	5	2	23
携帯型移動局	1	1	4	12	5	6	5	34
署活動用無線機			8	19	9	9	6	51
計	2	2	14	45	18	21	14	116

無線局一覧表（デジタル無線）

（令和7年12月31日現在）

免許人名 我孫子市 無線局の目的 消防用 基地局 1装置 陸上移動局 64装置

区 分	基地局	呼出名称	えんせいあびこしょうぼう	無線機種別	遠隔制御装置	配 置	西消防署
-----	-----	------	--------------	-------	--------	-----	------

区 分	陸 上 移 動
-----	---------

消防本部 半固定型0 可搬型1 車載型3 携帯型6

呼 出 名 称	無線機種別	配 置	呼 出 名 称	無線機種別	配 置
あびこほんぶ501	可搬型	本 部	あびこほんぶ101	携帯型	本 部
あびこしれい1	車載型	指令1号車	あびこほんぶ102	携帯型	本 部
あびこしれい2	車載型	指令2号車	あびこほんぶ103	携帯型	本 部
あびこしえん1	車載型	マイクロバス	あびこほんぶ104	携帯型	本 部
			あびこほんぶ105	携帯型	本 部
			あびこほんぶ106	携帯型	本 部

西消防署 半固定型2 可搬型1 車載型10 携帯型12

呼 出 名 称	無線機種別	配 置	呼 出 名 称	無線機種別	配 置
あびこしれい501	半固定型	西消防署	あびこしき101	携帯型	指揮隊
あびこにし501	半固定型	西消防署	あびこしき102	携帯型	指揮隊
あびこしき501	可搬型	指揮隊	あびこにし101	携帯型	西消防署
あびこしき1	車載型	指揮者	あびこにし102	携帯型	西消防署
あびこにしすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこにし103	携帯型	西消防署
あびこにしかがく1	車載型	化学1号車	あびこにし104	携帯型	西消防署
あびこにしきゅうじょ1	車載型	救助1号車	あびこにしすいそう101	携帯型	警防隊
あびこにしはしご1	車載型	梯子1号車	あびこにしかがく101	携帯型	特別救助隊
あびこにしきゅうきゅう1	車載型	救急1号車	あびこにしきゅうじょ101	携帯型	特別救助隊
あびこにしきゅうきゅう2	車載型	救急2号車	あびこにしはしご101	携帯型	特別救助隊
あびこにしきゅうきゅう3	車載型	救急3号車	あびこにしきゅうきゅう101	携帯型	救急隊
あびこしざい1	車載型	資材1号車	あびこにしきゅうきゅう102	携帯型	救急隊
あびこしざい2	車載型	資材2号車			

つくし野分署 半固定型1 可搬型0 車載型3 携帯型5

呼 出 名 称	無線機種別	配 置	呼 出 名 称	無線機種別	配 置
あびこつくしの501	半固定型	つくし野分署	あびこつくしの101	携帯型	つくし野分署
あびこつくしのすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこつくしの102	携帯型	つくし野分署
あびこつくしのすいそう2	車載型	水槽2号車	あびこつくしの103	携帯型	つくし野分署
あびこつくしのきゅうきゅう1	車載型	救急1号車	あびこつくしのすいそう101	携帯型	警防隊
			あびこつくしのきゅうきゅう101	携帯型	救急隊

東消防署 半固定型1 可搬型0 車載型5 携帯型6

呼 出 名 称	無線機種別	配 置	呼 出 名 称	無線機種別	配 置
あびこひがし501	半固定型	東消防署	あびこひがし101	携帯型	東消防署
あびこひがしすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこひがし102	携帯型	東消防署
あびこひがしすいそう2	車載型	水槽2号車	あびこひがし103	携帯型	東消防署
あびこひがしきゅうきゅう1	車載型	救急1号車	あびこひがしすいそう101	携帯型	警防隊
あびこひがしきゅうきゅう2	車載型	救急2号車	あびこひがしすいそう201	携帯型	警防隊
あびこひがししれい1	車載型	指令1号車	あびこひがしきゅうきゅう101	携帯型	救急隊

湖北分署 半固定型1 可搬型0 車載型2 携帯型5

呼 出 名 称	無線機種別	配 置	呼 出 名 称	無線機種別	配 置
あびここほく501	半固定型	湖北分署	あびここほく101	携帯型	湖北分署
あびここほくすいそう1	車載型	水槽1号車	あびここほく102	携帯型	湖北分署
あびここほくきゅうきゅう1	車載型	救急1号車	あびここほく103	携帯型	湖北分署
			あびここほくすいそう101	携帯型	警防隊
			あびここほくきゅうきゅう101	携帯型	救急隊

無線局一覧表（署活動系無線）

（令和7年12月31日現在）

区 分	陸上移動局	無線機種別	署活動用 51
消防本部		署活動用 8	
呼 出 名 称	配 置	呼 出 名 称	配 置
あびこほんぶ 1 1	警防課	あびこけいぼう 1 1	警防課
		あびこけいぼう 1 2	警防課
		あびこけいぼう 1 3	警防課
		あびこけいぼう 1 4	警防課
		あびこけいぼう 1 5	警防課
		あびこけいぼう 1 6	警防課
		あびこけいぼう 1 7	警防課
西消防署		署活動用 19	
呼 出 名 称	配 置	呼 出 名 称	配 置
あびこしき 1 1	指揮隊	あびこにしきゅうじょ 1 1	特別救助隊
あびこしき 1 2	指揮隊	あびこにしきゅうじょ 1 2	特別救助隊
あびこしき 1 3	指揮隊	あびこにしきゅうじょ 1 3	特別救助隊
あびこにし 1 1	警防隊	あびこにしきゅうじょ 1 4	特別救助隊
あびこにし 1 2	警防隊	あびこにしきゅうじょ 1 5	特別救助隊
あびこにし 1 3	警防隊	あびこにしきゅうきゅう 1 1	救急隊
あびこにし 1 4	警防隊	あびこにしきゅうきゅう 1 2	救急隊
あびこにしはしご 1 1	特別救助隊	あびこにしきゅうきゅう 2 1	救急隊
あびこにしはしご 1 2	特別救助隊	あびこにしきゅうきゅう 2 2	救急隊
あびこにしはしご 1 3	特別救助隊		
つくし野分署		署活動用 9	
呼 出 名 称	配 置	呼 出 名 称	配 置
あびこつくしの 1 1	警防隊	あびこつくしの 2 1	警防隊
あびこつくしの 1 2	警防隊	あびこつくしの 2 2	警防隊
あびこつくしの 1 3	警防隊	あびこつくしの 2 3	警防隊
あびこつくしの 1 4	警防隊	あびこつくしのきゅうきゅう 1 1	救急隊
		あびこつくしのきゅうきゅう 1 2	救急隊
東消防署		署活動用 9	
呼 出 名 称	配 置	呼 出 名 称	配 置
あびこひがし 1 1	警防隊	あびこひがし 2 1	警防隊
あびこひがし 1 2	警防隊	あびこひがし 2 2	警防隊
あびこひがし 1 3	警防隊	あびこひがし 2 3	警防隊
あびこひがし 1 4	警防隊	あびこひがしきゅうきゅう 1 1	救急隊
		あびこひがしきゅうきゅう 1 2	救急隊
湖北分署		署活動用 6	
呼 出 名 称	配 置	呼 出 名 称	配 置
あびここほく 1 1	警防隊	あびここほくきゅうきゅう 1 1	救急隊
あびここほく 1 2	警防隊	あびここほくきゅうきゅう 1 2	救急隊
あびここほく 1 3	警防隊		
あびここほく 1 4	警防隊		

月 別 区 分 別 1 1 9 番 等 受 信 件 数

(令和7年12月31日現在)

区 分 月 別	火 災	救 急	救 助	そ の 他 災 害	問 合 せ	病 院 紹 介	間 違 い	いた ず ら	訓 練 通 報	そ の 他	合 計
1	2	774	12	3	22	26	35	0	2	69	945
2	21	609	6	12	13	24	25	0	7	48	765
3	6	571	1	12	16	20	20	1	15	52	714
4	1	559	7	4	15	20	17	1	3	78	705
5	1	486	13	7	16	20	31	1	16	71	662
6	2	536	5	14	14	24	23	0	13	88	719
7	1	625	7	12	18	21	20	0	7	76	787
8	5	636	8	15	25	29	22	0	6	72	818
9	5	511	6	11	17	23	33	2	10	85	703
10	3	362	11	12	19	22	24	0	13	74	540
11	3	586	12	12	17	27	17	0	23	97	794
12	45	653	7	13	19	27	14	1	9	88	876
合計	95	6908	95	127	211	283	281	6	124	898	9028

※総合指令台での受信に限る

付 表

消防の沿革

昭和30年	4月	我孫子町・湖北村・布佐町が合併し我孫子町となる。新機構・新組織のもと本部役員を含め908名の消防団が誕生した。旧町村ごとに支団制を敷き3支団22ヶ分団で発足した。
昭和32年	4月	消防団機構改革により団長以下620名となった。
昭和35年	7月	機構改革により本部役員14名、分団各20名 総数454名となった。
昭和36年	9月	常備消防の設置について消防委員会の答申を得、同年12月に敷地（現在地 833㎡）の買収を決定した。
昭和37年	10月	鈴木式鉄筋コンクリート望楼(33.5m)、一部鉄筋コンクリート木造モルタル2階建庁舎(275.5㎡)の竣工式を行った。
昭和37年	11月	消防団常備部を設置、部長以下14名、水槽付消防ポンプ自動車1台を以て消防業務を開始した。
昭和38年	5月	常備部員を9名採用した。
昭和39年	1月	水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、常備部に配備した。
昭和40年	1月	消防ポンプ自動車を1台購入し、第1分団に配備した。
昭和40年	4月	政令指定により消防本部及び署を設置した。また、職員を5名採用し、消防長以下28名の陣容となった。
昭和40年	4月	初代消防長に新保衡助氏就任。
昭和41年	1月	消防団機構改革により22ヶ分団となった。
昭和41年	7月	救急車を1台購入した。職員を5名採用し、8月1日より救急業務を開始した。
昭和42年	5月	職員を2名採用した。
昭和43年	4月	職員を11名採用した。
昭和43年	5月	職員を2名採用した。
昭和43年	6月	布佐出張所を開設した。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車を1台配備した。
昭和43年	10月	水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、本署に配備した。
昭和44年	4月	職員を2名採用した。消防団機構改革により6方面隊22分団、団長以下279名となった。
昭和44年	12月	消防ポンプ自動車を1台購入し、第3分団に配備した。
昭和45年	4月	職員を12名採用した。
昭和45年	5月	湖北出張所を開設した。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車を1台配備した。
昭和45年	7月	市制施行に伴い我孫子市消防本部、消防署となった。
昭和45年	11月	査察広報車を1台購入、本署に配備した。
昭和45年	12月	日本自動車工業会より救急自動車が1台寄贈された。
昭和46年	1月	化学消防ポンプ自動車を1台購入し、本署に配備した。
昭和46年	4、5、6月	職員各1名を採用した。
昭和46年	6月	日本損害保険協会より消防車が1台寄贈された。
昭和46年	11月	職員2名を採用した。
昭和47年	4月	湖北出張所開設に伴い職員を8名採用した。日産エコー救急車による救急業務を開始した。
昭和47年	10月	消防ポンプ自動車を1台購入し、第21分団に配備老朽更新を図った。
昭和47年	12月	消防本部東側隣地(283.50㎡)を買収した。
昭和48年	4月	第2代消防長に橋本貫太郎氏就任。
昭和48年	4月	職員を3名採用した。
昭和48年	11月	消防ポンプ自動車を1台購入し、第15分団に配備し老朽更新を図った。
昭和49年	7月	職員を2名採用した。
昭和49年	12月	水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、布佐出張所に配備した。
昭和49年	12月	日本損害保険協会よりトヨタ2B型救急車が1台寄贈され、本署に配備し老朽更新を図った。
昭和50年	2月	第3代消防長に増田吉彌氏就任。
昭和50年	2月	30m級はしご自動車を1台購入し、本署に配備した。

昭和50年 7月 消防本部南側空地(1,653.18㎡)を買収決定した。

昭和51年 3月 指揮車を1台購入し、本署に配備した。

昭和51年 4月 職員を2名採用した。

昭和51年 6月 国道拡幅のため本部敷地(108.0㎡)を売却した。

昭和52年10月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新図った。

昭和53年 4月 第4代消防長に村上久氏就任。

昭和53年 4月 つくし野出張所開設に伴い、職員を5名採用した。

昭和53年 6月 消防本部庁舎建設のため南側市道(350.99㎡)を廃道し、本部が譲り受西側に付け替え道路(118.8㎡)を設置した。

昭和53年 7月 つくし野出張所開設。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車1台を以て業務を開始した。

昭和53年 8月 消防本部庁舎建設に伴い、隣地(346.51㎡)を買収した。

昭和53年11月 水槽付消防ポンプ自動車を2台購入し、本署、つくし野出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和53年12月 救急自動車(2B型)を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和54年 4月 職員を11名採用した。

昭和54年 9月 消防本部庁舎が完成し、9月30日落成式を行った。鉄筋コンクリート造4階建。
(延べ床面積2,042㎡総工費3億2千万円)

昭和54年10月 緊急指令装置B型を設置し、専従通信員を置き通信業務を開始した。

昭和54年12月 国道356号線の拡幅のため43.56㎡を県に売却、小型動力ポンプ積載車2台購入し、第9分団、第11分団に配備した。

昭和55年 3月 救急自動車(2B型)を1台購入し、本署に配備した。

昭和55年 4月 職員を12名採用した。消防本部の機構改革により2課制とした。
総務課(総務係・通信係)予防課(予防係・消防係)となった。

昭和55年 9月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し、第6分団、第13分団に配備した。

昭和56年 3月 日本損害保険協会より救急自動車(2B型)1台が寄贈され、布佐出張所に配備した。

昭和56年 4月 職員を4名採用した。

昭和56年 7月 消防本部の機構改革により、総務課総務係を総務課庶務係に改めた。

昭和56年 7月 我孫子市行政組織条例施行規則の改正により防災関係業務が総務課庶務係に移管された。

昭和56年 8月 小型動力ポンプ積載車を1台購入し、第12分団に配備した。

昭和56年10月 望楼を解体撤去した。

昭和56年10月 消防ポンプ自動車(BD-I)を1台購入し、第1分団に配備した。

昭和56年11月 小型動力ポンプ積載車を3台購入し、第5分団、第7分団、第18分団に配備した。

昭和57年 4月 職員を9名採用した。

昭和57年 4月～11月 小型動力ポンプ積載車を4台購入し、第4分団、第10分団、第17分団、第19分団に配備した。

昭和57年 7月 職員を1名採用した。

昭和57年10月 つくし野出張所 救急業務を開始した。

昭和57年11月 化学消防ポンプ自動車(II型)を1台購入し、本署に配備した。

昭和57年11月 救急自動車(2B型)を1台購入し、つくし野出張所に配備した。

昭和57年 7月 職員を1名採用した。

昭和58年 4月 職員を2名採用した。

昭和58年 7月 第5代消防長に工藤勲氏就任。

昭和58年 8月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し第2分団、第16分団に配備した。

昭和58年11月 救助工作車を1台購入し、本署に配備した。

昭和59年 8月 第13回全国消防救助技術大会に石井直樹消防士が出場した。

昭和59年10月 消防ポンプ自動車(BD-I型)を1台購入し、第3分団に配備し老朽更新を図った。

昭和59年11月 救急自動車(2B型)を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和60年 4月 職員を6名採用した。

昭和60年11月 小型動力ポンプ積載車を1台購入し、第8分団に配備した。

昭和61年 2月 布佐分署建設のため隣地(2,035.76㎡)を買収決定した。

昭和61年 4月 職員を7名採用した。

昭和61年10月	水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を1台購入し、布佐出張所に配備した。
昭和62年 4月	布佐分署の開設にあたり、消防本部機構改革により布佐出張所を布佐分署に名称を改め、分署長以下25名、水槽付消防ポンプ自動車2台、救急自動車1台を以て業務を開始した。
昭和62年10月	救急自動車（2B型）を1台購入し、本署に配備した。
昭和62年12月	水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、布佐分署に配備した。
昭和63年 2月	幼年消防クラブ結成。
昭和63年 4月	第6代消防長に大井豊氏就任。
昭和63年 4月	消防本部に警防課を設け、警防課に通信指令室が編入された。
昭和63年 4月	消防本部庁舎東側の土地(97.87㎡)を取得した。
昭和63年10月	消防ポンプ自動車（BD-I型）を1台購入し、第21分団に配備した。
平成 元年 4月	予防課が予防係、指導係の2係となった。
平成 元年 4月	消防音楽隊（20名）を発足させた。
平成 元年 4月	職員を2名採用した。
平成 元年 7月	職員を2名採用した。
平成 元年 8月	日本消防協会よりライトバン1台が寄贈され警防課に配備した。
平成 元年12月	水槽付消防ポンプ自動車（1-B型）を1台購入し、湖北出張所に配備した。消防ポンプ自動車（BD-1型）1台を購入し、第15分団に配備更新を図った。
平成 2年 2月	小型動力ポンプ（ラビット型）を2台購入し、第10分団及び第19分団に配備した。
平成 2年 2月	救急自動車（2B型）を1台購入し、布佐分署に配備した。
平成 2年 4月	職員を5名採用した。
平成 2年 5月	市制20周年を記念し、千葉県消防音楽隊フェスティバルが本市市民会館で開催された。
平成 2年 8月	マイクロバスを1台購入し、防災移動指揮車として本署に配備した。
平成 2年11月	水槽付消防ポンプ自動車（1B型）を1台購入し、つくし野出張所に配備した。
平成 3年 4月	消防本部機構改革により我孫子市消防署本署を西消防署に、布佐分署を東消防署に、湖北出張所を湖北分署に、つくし野出張所をつくし野分署に名称を改め、1本部2署2分署体制となった。職員を2名採用した。
平成 3年10月	救助用ゴムボート1隻及び船外機1台を購入し、西消防署に配備した。
平成 3年10月	救助活動用として牽引車（日産サファリ）を1台購入し、西消防署に配備した。
平成 3年11月	我孫子市婦人防火クラブがクラブ員142名をもって発足した。
平成 3年12月	水槽付消防ポンプ自動車（水1B型）を1台購入し、東消防署に配備した。
平成 4年 3月	救急自動車（2B型）を1台購入し、つくし野分署に配備した。
平成 4年 3月	東消防署に空気充填室を設置した。
平成 4年 4月	職員を2名採用した。
平成 4年10月	常備消防発足30周年記念式典を市民会館で開催、「消防30年の歩み」を発刊した。
平成 4年11月	完全週休二日制を開始した。
平成 4年12月	消防業務のOA化に伴い端末機等を設置し、オンラインシステムによる運用を開始した。
平成 5年 3月	化学消防車を1台購入し、西消防署に配備した。
平成 5年 4月	第7代消防長に今井敬氏就任。
平成 5年 4月	職員を4名採用した。
平成 5年 5月	第16回全国消防職員意見発表会に田村秀信消防士が出場した。
平成 6年 3月	高規格救急自動車を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。
平成 6年 4月	職員を4名採用した。
平成 6年 9月	ファイリングシステムを導入した。（消防本部、西消防署、東消防署）
平成 7年 6月	軽トラックを2台購入し、つくし野分署及び湖北分署に配備した。
平成 7年 7月	普通トラック（ロング）を1台購入し、西消防署に配備した。
平成 7年 8月	緊急援助隊の発足（平成7年6月30日）に伴い、消火隊1隊（5名）を県消防長会へ報告、全国消防長会に登録された。
平成 8年 4月	第8代消防長に土屋忠男氏就任。
平成 8年 4月	職員を5名採用した。
平成 8年 7月	第9代消防長に渡辺耕三氏就任。
平成 8年 9月	湖北分署の事務室（27.36㎡）を増築した。

平成 9 年 1 月 準高規格救急自動車 1 台を購入し、湖北分署に配備した。
 平成 9 年 2 月 ボートトレーラ 1 台、救助工作車 1 台を購入し、西消防署に配備した。
 平成 9 年 4 月 職員を 4 名採用した。
 平成 9 年 4 月 総務課に庶務係、消防係をおき、警防課に救急救助係、通信係をおいた。
 平成 10 年 4 月 第 10 代消防長に林勇氏就任。
 平成 10 年 4 月 職員を 6 名採用した。
 平成 10 年 4 月 危険物安全協会と防火協会が統合し防災協会となる。
 平成 10 年 10 月 音楽隊を休隊とした。
 平成 11 年 2 月 梯子車を 1 台購入し、西消防署に配置老朽更新を図った。
 平成 11 年 3 月 準高規格救急車を 1 台購入し、東消防署に配備老朽更新を図った。
 平成 11 年 3 月 指令装置老朽化のため更新し運用開始した。
 平成 11 年 4 月 職員を 4 名採用した。
 平成 12 年 4 月 第 11 代消防長に若泉薫氏就任。
 平成 12 年 4 月 職員を 5 名(内女性 1 名)採用した。
 平成 12 年 4 月 総務課を 1 係(総務係)とし、警防課通信係を西消防署に配属し通信室とした。
 平成 13 年 4 月 職員を 5 名(内女性 2 名)採用した。
 平成 13 年 10 月 牽引車を 1 台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。
 平成 13 年 10 月 高規格救急車を 1 台購入し東消防署に配備、準高規格救急自動車をつくし野分署に配備した。
 平成 14 年 4 月 職員を 5 名(内女性 2 名)採用した。
 平成 15 年 1 月 水槽付消防ポンプ自動車(水ⅠA型)を 1 台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。
 平成 15 年 2 月 つくし野分署の仮眠室を新築し、事務室及び待機室の改修を行なった。
 平成 15 年 4 月 職員を 3 名採用した。
 平成 15 年 12 月 水槽付消防ポンプ自動車(水ⅠA型)を 1 台購入し、湖北分署に配備老朽更新を図った。
 平成 16 年 4 月 第 12 代消防長に飯合節夫氏就任。
 平成 16 年 8 月 指令車を 1 台購入し、予防課に配備老朽更新を図った。
 平成 16 年 12 月 貨物自動車を 1 台購入し、東消防署に配備老朽更新を図った。
 平成 17 年 3 月 高規格救急車を 1 台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。
 平成 17 年 4 月 職員を 3 名採用した。
 平成 17 年 8 月 マイクロバスを 1 台購入し、本部に配備老朽更新を図った。
 平成 17 年 12 月 水槽付消防ポンプ車自動車(水ⅠA型)を 1 台購入し、つくし野分署に配備老朽更新を図った。
 平成 18 年 4 月 第 13 代消防長に田口宏氏就任。
 平成 18 年 4 月 職員を 2 名(内女性 1 名)採用した。
 平成 18 年 7 月 貨物自動車(資材運搬車)を 1 台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。
 平成 19 年 2 月 高規格救急自動車を 1 台購入し、湖北分署に配備老朽更新を図った。
 平成 19 年 4 月 第 14 代消防長に尾高朝雄氏就任。
 平成 19 年 4 月 職員を 3 名採用した。
 平成 20 年 3 月 寄付により連絡車(セレナ)を 1 台、予防課に配備した。
 平成 20 年 4 月 第 15 代消防長に篠原佳治氏就任。
 平成 20 年 4 月 職員を 8 名採用した。
 平成 20 年 10 月 柏市・我孫子市消防通信指令業務共同運用のため、消防通信指令事務協議会を設置した。
 平成 21 年 2 月 高規格救急車を 1 台購入(一部寄付)し、つくし野分署に配備老朽更新を図った。
 平成 21 年 4 月 職員を 3 名採用した。
 平成 21 年 7 月 救助艇を 1 艇購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。
 平成 21 年 10 月 第 16 代消防長に海老原孝雄氏就任。
 平成 21 年 10 月 連絡車(セレナ)を 1 台購入し、警防課に配備した。
 平成 22 年 2 月 小型動力ポンプ積載車を 3 台購入し、第 14 分団、第 13 分団、第 20 分団に配備老朽更新を図った。
 平成 22 年 4 月 高機能消防通信指令システムを整備し、柏市・我孫子市東葛消防指令センターにて消防通信指令業務の運用を開始した。

平成22年 4月 職員を6名採用した。

平成22年10月 指揮車を購入し、西消防署に配備した。

平成22年11月 消防ポンプ自動車（CD-1型）を1台購入し、第1分団に配備老朽更新を図った。

平成23年 2月 消防ポンプ自動車（CD-1型）圧縮空気泡消火装置付を1台購入し、東消防署に配備した。

平成23年 3月 連絡車（軽ワゴン車）（寄付）を1台消防本部に配備した。

平成23年 3月 東日本大震災に伴い、緊急援助隊千葉県隊として救急隊・後方支援隊各1隊を福島県に災害派遣した。（平成23年3月22日から平成23年6月6日まで延べ32名）

平成23年 4月 第17代消防長に藤根勉氏就任。

平成23年 4月 職員を3名採用した。

平成23年 9月 資機材搬送車を1台購入し西消防署に配備した。

平成24年 1月 救助工作車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。

平成24年 2月 高規格救急自動車を1台購入し、東消防署に配備し老朽更新を図った。

平成24年 2月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し第5分団、第12分団に配備老朽更新を図った。

平成24年 3月 音楽隊を廃止した。

平成24年 3月 常備消防発足50周年記念標語「子や孫へ・つなぐ防災・我があびこ」を作成した。

平成24年 4月 職員を8名採用した。

平成24年 6月 連絡車（マーチ）を1台購入し、消防本部に配備した。

平成24年11月 常備消防発足50周年記念特別点検・消防フェアを手賀沼公園で実施した。

平成25年 2月 常備消防発足50周年式典をけやきプラザで開催した。

平成25年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を3台購入し、第7分団、第18分団、第19分団に配備し老朽更新を図った。

平成25年 3月 化学消防自動車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。

平成25年 4月 第18代消防長に豊嶋昇氏就任。

平成25年 4月 職員5名を採用した。

平成25年 4月 市長より救急消防体制の強化について消防審議会に諮問があった。

平成25年 9月 市長諮問について消防審議会の審議結果を答申した。

平成25年12月 第3回市議会定例会に救急消防体制の強化に伴う職員定数条例の一部改正を議案として上程、可決され平成28年4月1日までに6名の消防職員増員が図られることとなった。
これにより同日より救急隊を1隊増隊することが決定した。

平成26年 2月 高規格救急自動車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。

平成26年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を3台購入し、第4分団、第10分団、第17分団に配備し老朽更新を図った。

平成26年 4月 職員4名を採用した。

平成26年 8月 市長より不祥事防止の方策について消防審議会に諮問があった。

平成26年11月 市長諮問について消防審議会の審議結果を答申した。
不祥事防止計画「不祥事防止に向けて」を策定した。

平成26年11月 消防指令車を1台購入し、湖北分署に配置した。

平成27年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を2台購入し、第2分団、第16分団に配備し老朽更新を図った。

平成27年 4月 第19代消防長に立澤和弥氏就任。
職員6名を採用した。

平成28年 2月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第3分団に配備し老朽更新を図った。

平成28年 4月 職員4名を採用した。
西消防署に高規格救急自動車1台を増台配備し、救急隊5隊運用を開始した。

平成28年 8月 松戸市、市川市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市及び浦安市にて通信指令業務共同運用のため、松戸市ほか9市消防指令事務協議会を設置した。

平成29年 1月 高規格救急自動車を1台購入、湖北分署に配備し老朽更新を図った。
消防指令車を1台購入、消防本部に配備し老朽更新を図った。
小型動力消防ポンプ積載車を1台購入し、第8分団に配備し老朽更新を図った。

平成29年 4月 第20代消防長に寺田美登志氏就任。

			職員4名を採用した。
平成29年	6月	広報車（プロボックス）を1台購入し、消防本部に配備し老朽更新を図った。	
平成30年	2月	水槽付き消防ポンプ自動車（CD-1型）を1台購入し、東消防署に配備し老朽更新を図った。	
平成30年10月		消防指令車を1台購入し、つくし野分署に配置した。	
平成30年12月		高規格救急自動車を1台購入、つくし野分署に配備し老朽更新を図った。	
平成31年	1月	広報車（マーチ）を1台購入し、消防本部に配備し老朽更新を図った。	
平成31年	3月	梯子車を1台購入し、西消防署に配置し老朽更新を図った。	
平成31年	4月	第21代消防長に深山和義氏就任。 職員7名を採用した。	
令和 元年11月		消防指令車1台及びボートトレーラー1台を購入、東消防署へは配備し、老朽更新を図った。	
令和 2年	3月	ボートトレーラー1台を購入、西消防署へ配備し、老朽更新を図った。	
令和 2年	4月	職員8名を採用した。	
令和 2年11月		市長より消防力の強化について消防審議会に諮問があった。	
令和 3年	1月	高規格救急自動車を1台購入、東消防署に配備し、老朽更新を図った。	
令和 3年	2月	水槽付き消防ポンプ自動車を1台購入、西消防署に配備し、老朽更新を図った。 ちば北西部消防指令センター運用を開始した。 西消防署に無人航空機（ドローン）を配備し、運用を開始した。 東消防署に女性仮眠室を整備した。	
令和 3年	3月	貨物車を1台購入、西消防署に配備し、老朽更新を図った。	
令和 3年	4月	職員6名（うち女性3名）を採用した。	
令和 3年	6月	市長諮問について消防審議会の審議結果を答申した。	
令和 3年12月		水槽付き消防ポンプ自動車を1台購入、湖北分署に配備し、老朽更新を図った。	
令和 4年	4月	第22代消防長に石井雅也氏就任。 職員5名を採用した。 令和4年4月1日、条例定数を152名から174名に変更する条例改正を図った。	
令和 5年	2月	高規格救急自動車を1台購入、西消防署に配備し、老朽更新を図った。	
令和 5年	3月	西消防署に女性仮眠室を整備した。	
令和 5年	4月	職員10名を採用した。	
令和 5年	9月	第44回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）を実施した。	
令和 6年	3月	水槽付き消防ポンプ自動車を1台購入、つくし野分署に配備し、老朽更新を図った。	
令和 6年	4月	第23代消防長に宮崎治氏就任。 職員15名（うち女性5名）を採用した。	
令和 7年	2月	規格救急自動車を1台購入、西消防署に配備し、老朽更新を図った。 東消防署に個室仮眠室を整備した。	
令和 7年	4月	職員9名（うち女性2名）を採用した。	
令和 7年	5月	我孫子市女性防火クラブを解散した。	

歴代消防長

	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	新 保 衡 助	昭和40年 4月1日	昭和48年3月31日
2 代	橋 本 貫太郎	昭和48年 4月1日	昭和50年1月31日
3 代	増 田 吉 彌	昭和50年 2月1日	昭和53年3月31日
4 代	村 上 久	昭和53年 4月1日	昭和58年6月30日
5 代	工 藤 勲	昭和58年 7月1日	昭和63年3月31日
6 代	大 井 豊	昭和63年 4月1日	平成 5年3月31日
7 代	今 井 敬	平成 5年 4月1日	平成 8年3月31日
8 代	土 屋 忠 男	平成 8年 4月1日	平成 8年6月30日
9 代	渡 辺 耕 三	平成 8年 7月1日	平成10年3月31日
10 代	林 勇	平成10年 4月1日	平成12年3月31日
11 代	若 泉 薫	平成12年 4月1日	平成16年3月30日
12 代	飯 合 節 夫	平成16年 4月1日	平成18年3月31日
13 代	田 口 宏	平成18年 4月1日	平成19年3月31日
14 代	尾 高 朝 雄	平成19年 4月1日	平成20年3月31日
15 代	篠 原 佳 治	平成20年 4月1日	平成21年3月31日
16 代	海老原 孝 雄	平成21年10月1日	平成23年3月31日
17 代	藤 根 勉	平成23年 4月1日	平成25年3月31日
18 代	豊 嶋 昇	平成25年 4月1日	平成27年3月31日
19 代	立 澤 和 弥	平成27年 4月1日	平成29年3月31日
20 代	寺 田 美登志	平成29年 4月1日	平成31年3月31日
21 代	深 山 和 義	平成31年 4月1日	令和4年3月31日
22 代	石 井 雅 也	令和4年4月1日	令和6年3月31日
23 代	宮 崎 治	令和6年4月1日	

※第16代の4月1日から9月30日までの期間は、同氏が消防長職務代理者として就任していたもの。

歴代消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	増 田 政 道	昭和30年 4月 29日	昭和32年 4月 28日
2 代	豊 嶋 幸 治	昭和32年 4月 29日	昭和36年 5月 22日
3 代	佐久間 忠 博	昭和36年 5月 22日	昭和40年 3月 31日
4 代	津 川 道 雄	昭和40年 4月 1日	昭和42年 7月 31日
5 代	村 越 新 男	昭和42年 8月 1日	昭和47年 4月 30日
6 代	今 井 喜美男	昭和47年 5月 1日	昭和51年 3月 31日
7 代	松 島 洋	昭和51年 4月 1日	平成 7年 1月 28日
8 代	飯 田 和 行	平成 7年 2月 8日	平成25年 3月 31日
9 代	吉 田 喜一郎	平成25年 4月 1日	令和4年 3月 31日
10 代	鈴 木 誠	令和4年 4月 1日	

我孫子市消防年報

(令和 7 年版)

発行 令和 8 年 7 月

編集 我孫子市消防本部総務課

